

Bö-tanz : Deadly Sins Spin-off 3.5/7

「Bonehead ボーンヘッド [失策]」

【主な登場人物】

剣崎 龍太（けんざき・りゅうた）／

警視庁捜査一課長檜山怜子が指揮する「捜査一課特捜班」に属する。今回のSpinオフでは、警視庁警務部人事第一課監察官室の特別捜査員として、故郷の札幌に飛ぶ。

馬橋 裕介（まばし・ゆうすけ）／

警察庁長官官房人事課の監察官（警視正）。監察とは警察内部での犯罪の調査を行う「警官を取り締まる警官」のことを指すが、馬橋はそのトップにいると言える。北海道警での不祥事の陰に、大きな不正が隠れていると睨む。

藤代 夏樹（ふじしろ・なつき）／

警視庁警務部人事第一課監察官室の捜査員（巡查部長）。馬橋監察官の勅命を受け、剣崎と共に札幌へ飛ぶ。

真壁 涼（まかべ・りょう）／

稲森会木暮組の若衆。組を助けるために懲役8年の刑で刑務所に入っていた。昨年娑婆に出てきたばかり。剣崎の高校時代の仲のいい友人であり、共に野球部に在籍していた。ポジション・打順はショート、9番。

高浜 謙二（たかはま・けんじ）／

通称「ケンちゃん」。稲森会木暮組の組員。若衆である真壁涼の舎弟。

塚原 貴史（つかはら・たかふみ）／

稲森会木暮組の若頭。実質上の組のトップ。ロシアとの太いパイプを持っていて、手広くシノギを展開。

柏 東城夫（かしわ・としお）／

北海道警、組織犯罪対策局銃器薬物対策課課長（警視）。岩城の上司であった。

ゴスロリ少女バンド「In This Moment（いん・でいす・もーめんと）」

ブリンク、マリア、ジュリア、イザベル、清姫、そしてキクチさんの6名で編成されたゴシック・メタル・バンド。本文中に超詳しい説明があるので、参照のこと。

岩城 圭昭（いわき・よしあき）／

北海道警、組織犯罪対策局、生活安全部生活経済課の警部。麻薬不法所持（使用）の嫌疑で逮捕される。自分のS（エス：捜査協力者）に刺されたのだ。ちなみに高校時代、剣崎と共に野球部に在籍。ポジション・打順はピッチャー、4番。

友部 司（ともべ・つかさ）／

元稲森会木暮組準構成員のヤクザ崩れ。岩城のS（エス：捜査協力者）。

0. ご多分に漏れず、警視庁屋上／バックンチヨしません／試合はまだ続いている？

警視庁の屋上。風の通り過ぎる音。

春。うららかな日差し・・・

ご多分に漏れず、火のついてない煙草をくわえてたたずむ、剣崎龍太。

捜査一課長檜山怜子が指揮する「捜査一課特捜班」に属する捜査員だ。

と、背後に人影・・・

剣崎 屋上は禁煙だろ？ 分かってるよ。ただ、啜えてるだけだ。火のついてない・・・

と、剣崎の言葉が不意に途切れる。背後の人影が上司である檜山課長ではないことに気付いたからだ。振り返ろうとしたその刹那、背後の人影が剣崎に声をかける。警察庁長官官房人事課の監察官、馬橋裕介（まばし・ゆうすけ）警視正である。

馬橋 うららかな日だね。剣崎さん・・・

剣崎 （振り返って、無言で見つめる）・・・・・・・・

馬橋 ここにいるって聞いたものだから・・・（と、剣崎の隣に並んで立ち）いい景色だ。警視庁の屋上がこんなに風光明媚だとは知らなかったよ。この夏はビアホールを開くように、総務に掛け合ってみるか・・・

剣崎 おたく、誰なんだ？

馬橋 ははは、これは失敬。景色に見とれ、自己紹介が遅れた。馬橋だ。警察庁長官官房人事課にいる・・・

剣崎 （怪訝そうに）察庁の人事課？

馬橋 そう。監察官室にいる。

剣崎 へえ、監察官？

馬橋 おいおい、そんな嫌な顔つきをするなよ。とは言っても、「監察官」と聞いて素直な笑顔で相手をしてくれる警官は激レアだからね。

剣崎 まあな。警察内部での犯罪の調査を行う「サツ官を取り締まるサツ官」ってやつだからな、監察は・・・ 気軽に冗談言い合えるとは、誰も思わないよ。表面（おもてづら）だけでもおべんちゃら使ってくれるのは地方警察署の「監察官室」のヤツらだけだろ？

馬橋 まあね。「同類、相哀れむ」ってやつかな・・・

剣崎 違うね。怯えてるだけだろ？ あんたらに・・・

馬橋 （感心して）言いたいこと、言うねえ。さすが聞きしにまさる、剣崎さんだ。

剣崎 褒めても茶も出ないぞ。っていうか、こんなだから、いい歳こいても警部補のままなんだ。ははは・・・

馬橋 ははは・・・

剣崎 ははは・・・って、お前まで臆面もなく笑うなよ。

馬橋 ははは・・・って、失敬、失敬。

剣崎 で、何で観察官様が直々に俺のところ？ まさか、桧山課長の背後に疑惑の暗雲が・・・とか？

馬橋 (微笑みながら首を横に振る) いいや、そんなことはない。

剣崎 じゃあ・・・ あああああっ！（と、不意に何か思い当たる節に思い当たって動揺し、小さな声で独りごちる）まっ、まさか、前回「Wrath」において、麻取の一瀬毅と一緒に公安の内部資料をハッキングする際に、セキュリティ突破のため、人事一課のPCに三角木馬、もといトロイの木馬を仕掛けたっていう、例の悪事が・・・よく分からないお客様は是非とも（とDVDボックスを取り出し、商魂逞しく）七つの大罪シリーズ第三弾DVD「Wrath」でCHECK！ ¥2,000で発売開始！・・・あああ、その悪行が、違法なハッキングが、ばれたとでも！ それで監察官が俺のところに！・・・っていうか、毅、絶対ばれないって言ったじゃん・・・ ログ書き換えればノープロブレムって・・・

馬橋 っ、剣崎さん。何言ってるのかな？ 一人で、ごちゃごちゃと・・・

剣崎 (動揺を隠せぬまま) いやいや、こっちの話・・・

馬橋 っ、剣崎さん。その手に持ってるの・・・

剣崎 (しれっと) 前回のDVD・・・

馬橋 前回？

剣崎 (と、我に返り、再び動揺) うわあ、なんだこれ？ っ、これまで説明し出すと「わや」になるから・・・ っていうか、お前、今回初登場キャラだし、どの様に説明を切り出して良いのやら・・・

馬橋 剣崎さん！

剣崎 (直立不動となり) はい！

馬橋 大丈夫ですよ。そんなに動揺しなくても・・・ 過去は問いませんし、知りたくもありません。何せ、今回は七つの大罪シリーズのスピノフ、特別企画ですから・・・

剣崎 ほんとに過去は問わないの？

馬橋 はい。本編との繋がる系は、結構「細め」です。なにせ、スピノフですから・・・

剣崎 マジで？

馬橋 まじで。だから、肩の力を抜いてください。その上今回は「座長祭」。なんと、剣崎さんが主役なんですよ！

剣崎 おっ、俺が主役？ マジで？

馬橋 (念を押すように) まじで主役。

剣崎 主役・・・(と、夢見心地で空を見つめるが、不意に我に返り) いやいや、そんな甘言に幾度となく、脚本家と演出に騙され続けてきたことか。主役、主役とおだてられ調子に乗ってしまうけど、結局フタ空けてみりゃ、単なる狂言回しだったり。そんなことばかりじゃん、最近・・・

馬橋 (微笑みつつ、首を横に振り) いいえ、そんなことはありません。

剣崎 マジで？

馬橋 (念を押すように) まじで。

剣崎 出ないの、梯鳥とか、麻取とか？

馬橋 出ません。

剣崎 　　って言いながら、やっぱり出るんじゃないの？ で、梯鳥とか、麻取とかが、後半の盛り上がりのところで、美味しいところパクンチョって持っていちゃうわけだ。

馬橋 　　パクンチョしません。

剣崎 　　マジで？

馬橋 　　（ちょい切れているが、いや、だからこそ、顔をキスするほど近づけて）くどい。

剣崎 　　すみません・・・

馬橋 　　で、聞く気がありますか？

剣崎 　　なに？ 俺が「主役」であることの、更に詳しい説明を？

馬橋 　　いえ、私がここに来た理由。

剣崎 　　って、あんたは誰だっけ？

馬橋 　　頭の底抜けとんのか、お前。警察庁長官官房人事課、監察官、馬橋・・・

剣崎 　　強引に話を元に戻したね。

馬橋 　　いささか強引でしたが、何か問題でも？

剣崎 　　（ゆっくりと座長から剣崎に戻り・・・[っていうか、座長と剣崎のキャラの差があまりにも僅少なので、観客の誰もが気付かないかもしれないけど、この際、そんなことはどうだっていいと思うよ。「座長祭」だしね(ノ°◇°)ノ]) 問題はないけどね・・・ で、何なんだ？

馬橋 　　実はね。ちょっと不穏な動きがあつてね・・・

剣崎 　　不穏な動き？ 監察官のあんたが言うからには・・・

馬橋 　　そう。うち内部での問題・・・

剣崎 　　ここで？

馬橋 　　いや、ここじゃなく北の方？

剣崎 　　北？

馬橋 　　そう。それも、かなり北。北海道・・・

剣崎 　　北海道警か・・・

馬橋 　　剣崎さんの出身は、たしか・・・ 北海道でしたよね？

剣崎 　　忘れたよ。

馬橋 　　そうですか。忘れましたか・・・（一呼吸の間を置いて）先日、一人のヤクザ崩れの男が覚醒剤所持の容疑でばくられました。いや、より正確に言えば、覚醒剤を持って道警に自首したと言うことになりますが・・・

剣崎 　　シャブ携えて自首？ 自らの身柄の保護が目的？

馬橋 　　（剣崎をじろりと見て）・・・友部司（ともべ・つかさ）。それが、そのヤクザ崩れの名前です。警察での取り調べだけでなく、検事調べでも完全黙秘を貫いていた友部ですが、その後に行われた札幌地裁での勾留質問で判事にだけは秘匿していた事実を告げました・・・

剣崎 　　警察と検察の力が及ばない地裁の判事への直訴。つまり、告げられた秘密とは・・・

馬橋 　　そう、警察内部の不祥事に関することです。警察官や検事に伝えたのでは、簡単に握りつぶされてしまう。ですが、相手が地裁の判事であれば、それが闇に葬り去られる可能性は低い・・・ きっと、行き当たりばったりではなく、計算ずくでのことでしょう

剣崎 で、告発された内容っていうのは？
馬橋 友部は判事に向け、「所持している覚醒剤は道警の捜査員から受け取った」と、そう言ったそうです。刺された捜査員は組織犯罪対策局、生活安全部生活経済課の警部。名前は岩城圭昭（いわき・よしあき）・・・

剣崎 （驚くが、平静を装う）・・・・・・・・

馬橋 そう。あなたもよく知っている、あの岩城です。判事に直談判した友部は岩城の捜査協力者、つまりS（エス）でした。

剣崎 岩城のS？ 岩城のSが何故飼い主を噛んだ？
馬橋 （首を横に振り）分かりません。そして、それこそ、私が知りたいことなのです。裏で何かが動き始めている。我々の関知できないところで・・・

剣崎 道警の監察官室は？
馬橋 多分、全面的な協力は望めないでしょう。
剣崎 なんで、お前ら仲良しだろ？ この前の道警での捜査費不正流用騒ぎの時だって、一緒に火消しに躍起になってたろ？ 結局4億5千万の裏金の大部分をチャラにして、且つ組織的な不正であることは認めたが、幹部による私的流用に関してはうやむやのまま・・・ 仕舞にや、キャンペーンはってた北海道新聞をあからさまに脅して、強引に手打ちに持っていった。

馬橋 （天を仰ぎ剣崎の言葉を聞いていたが、ぼそりと答える）・・・あれは道警だけでなく、警察組織全体の問題だった。だから、あのよう幕引きをするしかなかったんです。しかし、道警により隠蔽された裏金の中には我々にも看過できない目的に使われたものもあったことも事実です。我々は極秘裏に道警に対しての監察を続行しています。表だって行えば、当然、道警の監察官室はあからさまな拒否反応を示すことは明らかですから・・・

剣崎 Sである友部が、飼い主の岩城を噛んだ件と道警での不正流用の間に繋がりが・・・
馬橋 我々はそう読んでいます。ある不正システムを守るため、あなたの友人である岩城圭昭がトカゲのしっぽとして切り捨てられることになるのかも知れません。

剣崎 岩城を救うために、俺にスパイ紛いのことをしろと？
馬橋 そうです。やっていただけませんか？
剣崎 あのなあ・・・ もう話はあるんだろ？ 桧山課長とも・・・
馬橋 ええ。
剣崎 じゃあ、逃げようがないじゃんか・・・
馬橋 快諾していただけて、ありがとう。
剣崎 快諾だあ？
馬橋 ええ。（と、懐より移動内示書を取り出し、剣崎に示す）捜査一課特捜班剣崎龍太警部補。本日より警視庁警務部人事第一課所属、監察官室の捜査員を命じます。

剣崎 （内示を受け取り、ため息をつく）
馬橋 ブリーフィングの後、本日の夕方、札幌に向け飛んでもらいます。なお、現地での捜査に関しては、うちの捜査員である藤代と行動を共にしていただきます。（と、背後に声をかける）藤代君！

と、背後に現れる一人の男。監察官室捜査員、藤代夏樹（ふじしろ・なつき） 巡査部長である。でも、なんかちんぴらみたいな恰好してるんですけど・・・

藤代 初めまして、藤代です。

剣崎 って、こいつほんとに警官？ ちんぴらにしか見えないけど・・・

馬橋 って、あんたも人のこと言えないと思うけど・・・

藤代 札幌での内偵捜査に即した服装です。

剣崎 即したって・・・ 内偵対象は道警じゃないのか？

馬橋 真っ正面からぶつかったところで、跳ね返されるだけだ。分かるだろう？ だから・・・

藤代 岩城と友好がある一人の組員とコンタクトを取ります。

剣崎 組員？

馬橋 稲森会木暮組の組員、真壁涼・・・

剣崎 まかべ・・・

藤代 岩城と真壁は高校の同窓生でした。二人とも野球部に所属していた・・・

馬橋 そして、あなたもね。剣崎さん・・・

剣崎 （うなだれて）そう言うことか・・・

馬橋 岩城と真壁を繋ぐことが出来る唯一の人物。それがあなたです。あなたなら、隠された構図を白日の下に晒すことが出来るかも知れない・・・

剣崎

馬橋 友人関係を利用するなんて、汚いやり方だ。そう思いますか？ でも、友人を裏切る訳じゃない。逆です。助けるために行くんです。このままでは友人の岩城さんは道警の組織を守るための捨て駒になってしまう・・・

剣崎

藤代 友部の告発は地裁の判事から、札幌地検、道警監査官室と伝わり、銃器薬物対策課により岩城の任意同行を行うよう話が進んでいます。傍目にみても速すぎる展開です。もう一刻の猶予も出来ない状況なんです・・・

剣崎

馬橋 82年の夏。あなたは岩城さんと真壁さんと一緒に戦っていた。（懐より硬球ボールを取り出し）この白球を共に追っていた。剣崎さん。試合はまだ続いているんじゃないか？

馬橋、ボールを剣崎に向け放る。それを受け取る剣崎。

剣崎 （手にしたボールを見つめて）82年7月25日、札幌円山球場。第64回全国高等学校野球選手権、南北海道大会。準決勝。札幌開成、江差を破り、俺たち札幌城南はここまでたどり着いた。後、二勝すれば甲子園だ。運が良かっただけだって？ まあ。クジ運が良かったのは確かだが・・・ でも、それだけじゃない。だって、岩城が放ってたんだぜ。あの岩城だぜ。相手は函館有斗、去年の優勝校。文字通りの強敵だ。9回裏。1対1。一死二、三塁の大ピンチ。でも、これを凌げば延長だ。内

野は前進守備。二塁手の俺は一二塁間。ショートの真壁は若干二塁寄りの守備位置。バッターは3番打者。スクイズはない。打ってくる。それがあちらのやり方だ。岩城は頭が切れる。ヤツなら、上手く外角を引っかけさせることが出来る。凡打が転がってきたら、捕球後、三塁ランナーを見る。走る気なら、本塁へ。戻る気なら三塁に牽制するフェイクの後、一塁へ送球。取りあえず1アウト取る・・・頭の中で何度もシミュレーションする。何度も・・・82年7月25日、札幌円山球場。えらく暑かったあの日・・・

応援団のエール。ウグイス嬢（某女子校、放送部所属）の場内アナウンス。全校応援による割れるような声援・・・

SEが高鳴っていくのに呼応して、舞台が暗くなっていく・・・

暗転。と、叩き付けるようにM1「Prayers/In This Moment」がCut in。

1. In This Moment／じょりじょりっとね／札幌唯一の「ゴスロリ・ショーパブ」

叩き付けるようにM1「Prayers/In This Moment」がCut in。

同時に映像が投影される。タイトルバックに流れるは、ゴスロリ少女バンド「In This Moment」のライブ映像である。

ライブは小さなライブハウスで行われているもののようだ。っていうか、よく見ると「かもめ座」に似てね？　っていうか、そのものじゃね？　きっと、仕込みの時に撮影したんじゃない？　キツキツの時間でようやるよ、ホント・・・

と、ここでゴスロリ少女バンド「In This Moment」について、軽く解説しておくね。この「In This Moment」ってバンド自体はアメリカに実在します。一人の女性ボーカル (Maria Brink) と野郎四人の五人組のメタル系バンドで、バンド名のロゴとかちょっとエヴァネッセンス入ってます(-_-;)　なんだけど、あえて曲ごとバンド名もパクって「ゴスロリ少女バンド In This Moment」としてみました。「あえて」というのは JASRAC に対する挑戦とか、そんなんじゃないけど・・・んー、自分でもよく分かりませんが、このバンドの曲がこの脚本のイメージを作り上げる原動力になったからです。ともあれ、ゴスロリ少女バンド「In This Moment」は曲とバンド名こそパクリですが、とてもオリジナリティ溢れる札幌のアマチュアバンドです。構成メンバーは以下の通り：

ゴスロリ少女バンド「In This Moment」 (札幌のライブハウス「In This Moment」を根城にするアマチュア・バンド。ライブハウスとは言っても、実質上、「ゴスロリ・ショーパブ (ってなに?)」だそうです)

<メンバー>

Maria マリア (Vo) : 妖精のようなクリーンヴォイスとは裏腹に、そのファッションはバッキバキの黒ゴスです。黒レースに混じりボルドーレースが若干使われている以外、真っ黒クロ助です。でも、クローム系の十字架や天使の羽のアクセサリーが、闇に沈み込みがちになる彼女を浮き立たせる「浮子」の役目をしています。滅多に笑いませんが、たまに見せる笑顔にも陰りがあります。そんなわけで、外からも内からも、デカダンス x デカダンス感が炸裂です。一体、何を背負い込んでるのでしょうか？

Brink ブリンク (Vo/デス声) : このバンド、実はツインヴォーカルなんです。でも Lacuna Coil みたいに一人はデス声担当です。で、このブリンクが主にデス声を張り上げているわけですが、実際何を叫んでいるのか全くもって聞き取れません。衣裳としては、相方とのバランスを考えて主に白ゴス系ですが、メイド服もお気に入りようです。ライブを観に行けば分かるのですが、結構年喰ってるような気がします。っていうか、実際喰っています。子どもがいるとの噂もあるほどです。かなり「痛い」です。そんな意味でゴスロリ少女バンドの中には、本来いてはいけない人なのですが、あにはからんや、この人がバンドのリーダーでもあり、ショーパブ

のオーナーでもあるので、誰も逆らえません。気のいいねーさんですが、右手首から肩口にかけて入れ墨を入れていることから、過去に何かすごいことがあったんだろうなあと、なんとなく予想できます。

Julia ジュリア (RQ) : ツインリードの一人。早弾きが得意ですが、身体も弱いので「早退き」も得意です。Moi-meme-Moitie (モワ-メーム-モワティエ) 系のエレガント・ゴスロリですが、スカートはかなり短めです。当然、黒のオーバーニーとスカートの間から真っ赤なガーターベルトが覗いています。愛機は Ibanez (アイバニーズとか言うな、イバニーズでいいじゃん) の RGT6EXFX (ああ見えても実はスルーネックだって、知ってた?)。EMG のアクティブ・ピックアップをぶっ込んでますんで、パワフォーです。色は当然、黒です。更には、小賢しいトレモロアームなんか装備されていません。「フロイト・ローズ? そんなしゃらくせえもんなんか、いらねえ! っていうか、上手く使いこなせねえし!」っていう、逆ギレに近い叫びが聞こえてきそうで、いさぎよ過ぎですね。

Isabelle イザベル (RQ) : ツインリードの片割れ。赤いタータンチェックを多用したゴスパン (ゴシック・パンク) 系の衣裳にサンバーストのレスポールが映えます。鎖とか巻いたりしていますが、結構露出度は高く、セクシー系と言っても過言ではないでしょう。ご自慢のレスポールはエドワーズ社製ですが、リアピックアップにセイモア・ダンカンの SH-6 ディストーションを搭載しています。最凶です。

清姫キヨヒメ (B) : やっとベースの登場です (っていうか、さすがに疲れてきました・・・)。名前からも察していただけるものと信じて疑いませんが、「和ゴス」です。斬新にカットされた和服に蝶が舞ってます。切れ長系ゴスメイクで、髪は当然の如く、黒のショートボブです。往年の中森明菜 (DESIRE) を思い出し、ふと過ぎ去った青春の、その甘酸っぱさに思わず落涙するのは、私ばかりではないでしょう (寝不足のため、壊れ始めてきています)。

キクチさん (Dr) : 近所で果物屋を営んでいるオヤジです。ライブがあると借り出されます。当然、その際は、バンドのコンセプト上、常に女装です。ライブ当日の午前中にお風呂場でスネ毛を剃るキクチさんが楽しげに口ずさむ鼻歌を幾度となく耳にしたと、娘の沙也香ちゃん (8) が私にこっそりと教えてくれました。こんなに素敵なキクチさんですが、今回の作品には残念ながら実体は登場しません。

[って、これ本気でやったら、すごい事になるんだろうな。特に衣裳代が・・・] って、かなり体力を消耗したけど、これでやっと本編に戻れるね。

大音響で響き渡る音響。映像の中でギターをかき鳴らしたりして、跳ね回るゴスロリ達。

と、曲が盛り上がったところで生 1kw Par x 8 台が目潰し気味に炸裂。舞台が真っ白に・・・

目が慣れると、何と舞台に、映像から今まさに抜け出たかのようにライブ演奏を続けているリアル「In This Moment」の面々があ!

で、かっこよく演奏 (アテですけどね) が終了。やり切った感丸出しのブリンク (デス声) がみんなに声をかける。

ブリク 結構いい感じにまとまってきたんじゃない？ どう思う、ジュリア？
ジュリア 3度目のサビの前のツインリードのどこ、ちょこっとアヤつけちゃったんだけど、あれでいいかな？
イザベル ブリンク、勝手に変えてごめん。私がジュリアにお願いしたんだ。わたし的にはこっちの方が手癖に合っていて、ノリが出る。だから・・・
ブリク いいんじゃない、こっちの方が。イザベルとジュリアが完全に絡み合ってるって感じで。ねえ、どう、清姫？
清姫 清姫的には問題はないよ。
ブリク 問題ないって？ 良くなったってこと？ それとも、どっちでもいいってこと？
清姫 (どっちでも言いじゃんって感じで) ねえ、ブリンク・・・
ブリク どっち？
清姫 (諦めて) すごえ良くなった。
ブリク ほんと？
清姫 ていうか、勇気振り絞って、正直にいうと、「違いが分からなかった」ってこと。
ジュ・イザ マジで？
清姫 マジで。
ブリク いんじゃない？ 一人、我が道を行く、清姫様なんだからさ。

と、舞台後方でアズレン・スプレー吹き付けて、喉をさすっているマリアに気付くブリンク。

ブリク マリア？ あんた大丈夫かい、喉？
マリア (黙って、頷く)・・・大丈夫。
ブリク 大丈夫じゃねえだろ。喉見せてみな。はい。あーんして・・・
マリア やめろよ。子供じゃねえんだし・・・
ブリク あーんして！
マリア (抗うのを諦めて) ったく・・・ あー。
ブリク (のぞき込み) うわっ、真っ赤だぜ、マリア。
ジュリア ホントかよ！
マリア ...心配すんな。花粉だよ
イザベル 花粉？
マリア ただの花粉症。しばらく待てば治るよ。
清姫 ホントか？
マリア (黙って、頷く)
ブリク なあ、マリア。あんたはうちの、In This Moment のリード・ヴォーカルなんだよ。バンドの出来不出来はあんたの歌声にかかっているんだ。だから、YOSAKOI ソーラン祭りのゴス・ライブ・フェス (ってなんだ？ 多分、YOSAKOI ソーラン祭りに付随して行われるアマチュア・ゴス・バンドのライブ・イベントで、その札幌市及び近郊在住のゴスの方々にはとても有名且つ重要度の高いものであると予想しているが・・・)

のファイナルに進むためには、次の最終予選をどうしても突破しなきゃならないんだ。

清姫 そのためには、あんたの伸びやかな天使の歌声が不可欠ってこと。
伊ザベル ブリンクとあんたが二人揃ってデス声ってことになったら・・・
ジュリア 色気もへったくれもねえだろ。なあ？
ブリク マリアのエンジェル・ヴォイス、そして私のデス・ヴォイス。それが混じり合っ
てこそ・・・
マリア In This Moment・・・
ブリク そう。
伊ザベル ファイナル行こうよ。
ジュリア 大通公園の特設巨大ステージへ！
清姫 全国から集まる5万人のゴスの前で、四方八方からライト浴びながら歌うんだ。
ブリク 登場と共に「Pryers」さ。のっけからゴスどもの度肝抜きまくりだよ。(遠い目をして、
眩くように歌い出す) Take my hand, show me the way・・・
マリア (後を継いで) And never bring me back here・・・
伊ザベル 私の手を取り、そして導いて。二度とここに戻って来れぬように・・・
ジュリア それが、私の報われることのなき祈り (= Prayers)・・・
清姫 そして、私たちの歌だ・・・
ブリク マリア。私たちは夢を叶えるの。だから、喉は大切にすること。痛かったら、素直
に「痛い」と言うこと。決して意地を張らないこと。いいわね？
マリア 分かった。約束する。でも、まるで子供扱いなんだもん・・・
ブリク (鼻先を軽くはじいて) 子供みたいなもんでしょ。

と、ジュリアが何かに気付き、前方を指さす。

ジュリア あっ、ドラムのキクチさん、帰るよ。
ブリク キクチさん！ 今日もお忙しいところ、ご協力ありがとうございました。
伊ザベル ほんと、忙しいはずなのに、八百屋だってねえ・・・
ジュリア 八百屋じゃねえよ。果物屋だよ。より正しくはフルーツパーラー・・・
ブリク 今度の最終予選もよろしくお願いしますね。・・・ええ、もちろん女装で。ゴスロリ
メイクばっちり決めちゃいますから・・・
清姫 いつものように、ライブ当日は、スネ毛だけはそちらの方で・・・ そうそう、じ
よりじょりっと、お願いします。
ブリク ・・・お店の方にも遊びにいらしてくださいね。あっ、そうですか。嫁はんがいい
顔しない、ですか・・・
伊ザベル そりゃ強敵ですね。
ブリク はい。では、また・・・

と、全員正面に向け、深々と頭を下げる。

と、ジュリアがいち早く顔を上げ、「今度、イチゴ買いに行くから、イチゴ！」と叫

ぶ。

腕組みをするブリンクと清姫。

- ブリンク 一応、かなり無理があるが「ゴスロリ少女バンド」と銘打ってるわけで・・・
- 清姫 ドラムが人のよい果物屋のオヤジじゃ、さすがにヤバイよな。
- ブリンク あの女装もいつばれてもおかしくないって状況だし。どっかにドラムたたけるかわいいゴスロリ、落っこちてないもんかねえ。テレビ塔の下とか・・・ 出来れば、ツーバス、ドカドカ踏みまくるのがいいなあ・・・
- ジュリア それ、歳末ジャンボの当たりくじを、偶然にオーロラタウンの中で拾っちゃう確率より低いだろ。
- イザベル (時計を見て) ねえねえ、ブリンク。もう、こんな時間だよ。早く開店の準備しなくちゃ。
- ブリンク (我に返り) おっと、いけない。さあ、みんな、楽器、片付けて！ 開店の準備、準備。札幌唯一の「ゴスロリ・ショーパブ」、「In This Moment」の開店だよ。イザベル、ぼさっとしてないで・・・

と、皆、わさわさと退場するのに合わせ、暗転する舞台。

2. 100%ばれちやいそうな嘘／長六四／尿検査で陽性反応

空港のざわめき。

明転すると舞台上には剣崎と藤代。

剣崎 ……横浜の稲森会系暴力団杉田一家？

藤代 はい。そうです。真壁のいる札幌の木暮組とは同系列の暴力団です。剣崎さんはその相談役と言うことになっています。

剣崎 俺が相談役？

藤代 はい。剣崎さんは二年前の春、警官の表のリストから外れてますよね。

剣崎 まあな松山課長の強引な引き抜きによって、機動捜査隊からなんだか得体の知れない「捜査一課特捜班」っていうのに配属になった。松山捜査一課長の独立捜査を行うために作られた「公には存在しない捜査チーム」だ。まっ、松山の向こうにどんな大物が隠れているのか知らないし、知りたいとも思わないがな。とにかく、その時に名簿から外されちまったんだろ。

藤代 だから、記録上、辞職扱いに書き換えるのも楽でした。

剣崎 って、お前。勝手に俺をクビにしちゃたわけ？

藤代 記録上ね。剣崎警部補は二年前の春、暴力団との密な関係を問題視され、辞職に追い込まれています。どうやら、特定の暴力団に捜査情報をリークしていた気配がありますねえ……

剣崎 おいおい、そんなことしてねえぞ。

藤代 で、辞職後、杉田一家の相談役となります。組長に買ってもらったシーマを乗り回し、横浜伊勢佐木町あたりじゃ、毎晩ぶいぶい言わせているそうじゃないですか。

剣崎 俺が？

藤代 そうです。

剣崎 いいなあ、そんな俺……

藤代 とにかく、札幌の稲森会系暴力団には、そういう情報を流しておきました。

剣崎 大丈夫か、それ？

藤代 公安の協力を得ての情報操作ですが、当然 100%安全とは言えないでしょうね。

剣崎 っていうか、100%ばれちやいそうな嘘だろ、それ。

藤代 (頭のとっぺんからつま先まで、なめ回すようにみながら) その態(なり)なら、十分にそう見えますよ。とにかく、ばれないように演じてもらうしかない。それだけです。我々二人は、横浜一の高級ロシアクラブ「エカテリーナ＝ロマノフ」を新装開店するため、ロシア人ホステスを安定供給するパイプラインをつなぎに、杉田一家から派遣された。小暮組は、全国的に見ても、まあまあ規模のロシア系タレント・プロダクションを持っています。

剣崎 タレント・プロダクション？

藤代 密入国を含めロシア人ホステスの入国の支援、日本語教育、接待技術の指導……まさにプロダクションです。プロダクションを仕切っているのは若頭の塚原貴史(つ

かはら・たかふみ)。まだ三十代ですが、若衆である真壁の上役（うわやく）にあたります。

剣崎 年下の兄貴分か・・・

藤代 ええ、これには事情があって・・・ と言うのも、真壁は長六四（ながむし）喰らってたんですよ。娑婆に出てきたのは昨年夏。まだ一年経っていません。

剣崎 真壁が長六四？

藤代 組のために一肌脱いだんでしょうが、真壁がム所に入っている間に、組長が死亡し、組織自体の再編成が上の稲森会主導で行われた。その結果、戻ってくるポジションが、事実上なくなった。言うなれば、居心地の悪い組の中で、冷や飯喰わされてるって感じでしょうか。

剣崎 なあ、真壁は何でぶち込まれたことになっているんだ

藤代 ハジキの密輸です。銃刀法違反で懲役8年。

剣崎 ハジキの・・・

藤代 そうです。で、挙げたのは、当時、生活安全部銃器対策課の・・・

剣崎 岩城・・・か？

剣崎の顔を見て、こっくりと頷く藤代。と、携帯が鳴る。

携帯に出る藤代。

藤代 （携帯に向け）藤代です。・・・はい。今から最終便に乗り込むところですが・・・ えっ？ ・・・そうですか。・・・分かりました。はい。気をつけて行ってまいります。情報、ありがとうございました。（電話を切る）

剣崎 馬橋からか？ 何があった？

藤代 岩城がぱくられたようです。

剣崎 ぱくられた？

藤代 任意同行の際の尿検査で陽性反応が出たそうです。

剣崎 岩城が覚醒剤を？ そんな馬鹿な。何かの間違い・・・

藤代 道警は明日の朝刊のためのプレスリリースの作成に取りかかっているとのこと。

剣崎 藤代。俺にはどうしても岩城とシャブが結びつかないんだ。間違いじゃないのか？

藤代 簡易検査キット（トライエージ）を用いただけでしょうから、偽陽性の可能性はあります。例えば、風邪薬や痛み止めを飲んだだけで陽性反応が出ることもあります。

剣崎 でも、簡易検査の結果だけでプレスリリースなんか行うか？ 普通、精密検査の結果を待たせろ。それも身内の不祥事だぜ。

藤代 確かに、なにか焦っている。そんな感じがしますね。

剣崎 一体、何を焦っているのか。そして、焦らなければならない、その理由・・・

藤代 （腕組みし、独り言のように呟く）考えてた以上に、展開が速すぎる・・・

腕組みをしたまま、考え込む藤代。同じく、考え込んでいる剣崎。

舞台が暗転する。

3. 今夜も雨古鳥／回想シーンはちょっと待て／そのことかよ？

M2「Beautiful Tragedy/In This Moment」が流れ出す。

明転、舞台の上にはブリンク、マリア、そしてギターを抱えたジュリア。

皆、音響に聞き耳を立てている。

ジュリア ……最初はイザベルのアルペジオで。んでもって、ここであたしのギターが……

音響：歪んだりフが派手に切り込んでくる。

ジュリア って感じ。こんなアレンジの方がよくない？

マリア うん。

ジュリア 敢えて装飾をそぎ落とした、タイトなりフ。

ブリンク いいね。

ジュリア ねっ、カッコイイしょ？ あとは、マリアの歌声にブリンクのデス声をどう絡ませるかってことだけど……

ブリンク それは私に任せてよ。

ジュリア だね。

マリア ビューティフル・トラジティ。美しい悲劇か……

ブリンク どうした？

マリア なんでも。ただ、いいタイトルだと思って……

ブリンク マリアにそう言ってもらえると、うれしいね。作詞した甲斐があるってもんだよ。

ジュリア これ譜面。一応、起こしておいた。（と、紙束をブリンクに手渡す）

ブリンク （受け取り）ありがと。

と、ドアが開き、清姫が登場。

清姫 うー、さぶい。っていうか、春だって言うのになんだいこの寒さは……

ブリンク 客引き、ご苦労さん。

ジュリア っていうか、釣れたの、お客？

清姫 釣れた、釣れた。入れ食い……と言っても、2匹だけど……

続いて、イライザも現れる。誰かと、腕で組んでるぞ！ それも、なんか、ちんぴらっぽいヤツだぞ。稲森会木暮組の組員、高浜謙二（たかはま・けんじ：通称「ケンちゃん」）。若衆である真壁涼の舎弟である。

高浜 こんばんわっす。

ブリンク なんだ、ケンちゃんじゃない。

ジュリア げっ、お前かよ。また、タダ酒、喰らいに来たのか？

高浜 (イライザの手をほどき) 酷いなあ、ジュリアちゃんに会いに来たんでしょ。
ジュリア また、怒鳴られたいのか？
高浜 うん。(と、恥ずかしげに頷く)
ジュリア ドMか、お前？
高浜 うん。(と、更に恥ずかしげに頷く)
ブリック 涼は？
清姫 当然、来てるよ。

と、登場する真壁涼。

真壁 今夜も閑古鳥か？ほんと、ご多分に漏れない店だな・・・
ジュリア (うざい高浜を突き飛ばして、真壁に駆け寄る) 真壁さん。いらっしゃーい！
真壁 おー、ジュリア。元気してたか？
ジュリア うー、うー。元気、元気。っていうか、バイアグラ飲んだみたいに、元気炸裂。
真壁 なんじゃそりゃ？っていうか、バイアグラ、お前飲んでも効かないから、多分。
(と、ブリックに) なあ、可愛いの二人、寒空に立たせて、お前は中でぬくぬくってわけか？
ブリック あたしが立ったところで、客引くどころか、逃げてただけだろ？

一瞬、全員凍り付く。高浜がみんなに聞こえない程度で呟く「笑えねーし・・・」。
と、真壁の笑いが沈黙を破る。

真壁 ははは。そりゃそーだ。悪かったな・・・(と、マリアの隣に腰を下ろし) なあ、マリア、少しは慣れたか？
マリア はい。
真壁 「はい。」か・・・いい返事だ。一頃よりは、緊張も解けてきたみたいだし、大丈夫そうだな。まだ怖いか、俺達みたいな半端者は？
マリア 怖くない・・・慣れました。
真壁 慣れたか・・・なんか、嬉しいような、全く嬉しくないような、変な気分だな・・・
マリア (笑う)
真壁 まあ、とにかく、楽にいけ、楽にな・・・
マリア (にっこりとして頷く)

と、高浜にちょっかい出されて、ジュリアが切れる。

ジュリア くらあ、高浜。お前、うざ過ぎじゃあ！
高浜 怒った顔、素敵！
ブリック ジュリア、まあ、おさえて。ケンちゃんもオイタしないの、ねっ。清姫、イザベルと一緒にケンちゃんの脇について・・・
清姫 はいよ。しょうがないね、いつもいつも・・・(と、イザベルを引き連れ、高浜の元

へ行く)

真壁 すまん、いつも。ケンジも悪いヤツじゃないんだが・・・
ブリク 分かっているよ。ケンちゃんが女の子に優しいのは・・・ ジュリアだって本気で嫌がっている訳じゃないよ。

ジュリアを守ろうと、清姫とイザベルが高浜の元に移動。

高浜 (机の上にあった紙束を手にとって、眺めて) なあ、この楽譜って誰書いたのよ。
イザベル ジュリアだよ。
高浜 えーっ、ジュリアちゃんが？ っていうか、すげえうめえじゃん。
清姫 お前、楽譜読めるのか？
高浜 楽譜は読めねえよ。じゃなくって、この音符って言うの、これが上手い。達筆だ。
イザベル 達筆言うか？
ジュリア そんなほめ方じゃ、喜ばねーし・・・
高浜 でも、このぐるぐるした記号、なんて言うんだっけ？
ジュリア ト音記号だよ。
高浜 そう、それ！ とか、なんか音楽の教科書に載ってるのと一緒じゃん。
ジュリア 当たり前だろ、それ！
清姫 って、してみれば、ケンちゃんの言う通りって気もするな。お前の楽譜、達筆だよ。書き慣れてるって言うか・・・ ちゃんとした音楽教育受けてた、とか・・・
イザベル ジュリアって、名前通り、ジュリアード音楽院出てたりして。
高浜 ジュリアード音楽院？
ジュリア (高浜に) ニューヨークにある超有名な芸術学校だよ。学ねえな、お前。イザベル、あたしが入ってたのは、そんなところじゃねえし、合ってるのは最後の「院」だけだよ。
イザベル 「院」だけって？
ジュリア だから、紫明女子学院ってところさ。

その名前を聞いて、全員が言葉を失う・・・

清姫 ジュリア、それって・・・
マリア (何のことか分からず、隣の真壁に尋ねる) 紫明女子学院って？
真壁 千歳市にある・・・ 女子少年院だ。
マリア 女子、少年院・・・
ブリク 何だよ、お前ら。ジュリアが、ジュリアード音楽院出てようが、紫明女子学院出てようが、そんなのあたしは興味はないね。ここは「In This Moment」。今があるだけっていつてるだろ！
清姫 だよな。ここは「In This Moment」。今があるだけだ。ケンちゃん、かんぱーい！

と、雰囲気元通りとなる。

ブリク　　は一、ホントにもう。・・・で、涼。今夜はどういう風の吹き回しだい？ 単に暇だから呑みに来たってふうじゃないけど？

真壁　　まあね、ご明察。明日の夜、ここ貸し切りにならないかと思ってさ・・・

ブリク　　貸し切り？

高浜　　そう、明日、兄貴の古いダチが横浜からやってくるんだって。

ブリク　　古いダチ？

真壁　　龍ちゃんだ。

ブリク　　りゅうちゃんって・・・

真壁　　だから、剣崎龍太。

ブリク　　剣崎って、剣崎先輩！？

真壁　　「先輩」って、いくつだ、お前？

ブリク　　いくつになっても、先輩は先輩だろ？

マア　　先輩？

ブリク　　そう、高校の私の2コ上。涼とタメ。二人とも野球部のレギュラーで、剣崎先輩がセカンドで、涼がショートだった。

女子全員　えー。真壁さん、高校野球やってたの？

真壁　　えーっはないだろ。

高浜　　えーっ！

真壁　　ケンジ、お前まで、えーっはないだろ？

高浜　　一応、みんなと歩調を合わせようと・・・

真壁　　合わせなくていい。

ブリク　　結構強かったんだよ、その頃のチーム。だって、夏の甲子園、行けるんじゃないかって、みんな本気で思ってたぐらいだから・・・

真壁　　そうだったかな・・・

ブリク　　だから、私も野球部のマネージャーになったわけで・・・

女子全員　って、えー。ブリクが野球部のマネージャー！？

伊バ　　マジで？

清姫　　結構、以外・・・

高浜　　えーっ！

ジュア　　（高浜に）お前は別におどろかんでええから・・・

ブリク　　あたしだって、甲子園連れて行ってもらえるって、本気で信じてた。私が16になったばかりのあの夏の夕暮れ。私は球拾いで集められたボールをすべて拭き終わり、したたる汗をタオルでそっと・・・

蝉の鳴き声。照明がアンバー系の夕暮れのようなものにゆっくり変わっていき・・・と、真壁が「ちょっと待って！」と割って入る。途切れる音響。元に戻る照明。

真壁　　ちょっと待て、お前。その恰好で、回想シーン入る気？ ゴスのまま、マネージャー？ 俺、この恰好のまま、高校球児？

ブリク (こっくりと頷き) 私は球拾いで集められたボールをすべて拭き終わり、したたる汗をタオルでそっとおさえる・・・

再び、蝉の鳴き声。照明がアンバー系の夕暮れのようなものにゆっくり変わっていき・・・

ブリク と、背後からかけられる声。

真壁 (高校球児風に・・・って、どんな感じ?) なんだ、まだいたのか・・・

ブリク あっ、真壁先輩。お疲れ様です(ぺこりとお辞儀) この、ボールのケース片付けたらすぐ、帰りますから・・・(と、ケースを持ち上げようとする仕草)

真壁 待てよ。そんな重いもの、お前が持てるわけねーじゃん。俺が運んで・・・

と、真壁、ケースをどっこいしょと持ち上げる仕草。が、迂闊にも乗ってしまったことに気付き、「うりゃあ」とケースごとうつちやり。「ちょっと待って、そこも！」と音響と照明に嚴重注意する。途切れる音響。元に戻る照明。

真壁 座長祭だからと言って、なんぼなんでも、それはきついだろ? やれるの? 17歳の高校球児やれるの? 健康そうに日焼けした笑顔で、演じきっちゃえるの?

ブリク わたしは出来るよ。はにかみがちな笑顔で・・・

真壁 純真無垢な女子高生を、か? あのさ、出来る、出来ないの問題じゃなくって、それって痛いだろ? 見ている方が恥ずかしくなっちゃうだろ。(客席に) ねえ? ...って、ほら、頷いてるし・・・ なっ、悪いことは言わない。回想シーンはもう少し、場が進んでからの方がいい。

ブリク そうかなあ?

真壁 そう。そうだよな? (と、舞台上のみんなに尋ねる。頷くみんな) っんじゃ、強引に本筋に戻るぞ。・・・じゃあ、明日頼んだぞ。おい、ケンジ行くぞ!

高浜 もうっすか? もうちょっと・・・

真壁 明日また来ることになるんだ。今日はこのぐらいにしとけ。

高浜 はい。じゃあね、ジュリアちゃん、また明日(と、洪々真壁のそばに行く)

ジュリア もう来るな、アホ。

真壁 邪魔したな。

ブリク 涼!(と、帰ろうとする真壁を呼び止めて、駆け寄り、封筒を手渡そうとする)

真壁 なんだ、これ?

ブリク みかじめ・・・ 涼がいつも立て替えてるんだろ? だから・・・

高浜 (封筒を受け取り) ありがとうございます、姉さん。ホント上納がきつくてさあ・・・

真壁 ケンジ! (と封筒を奪い取り、ブリクに突っ返す) この店から、みかじめ取る気はねえ。阿漕に稼ぎ倒してるんならまだしも、こんな閑古鳥鳴きっぱなしの店から取る訳には行かない。

ブリク 商売はさっぱりだけど、別に借金抱えてるわけじゃない。この店だって前の男(夫)

から、手切れ金代わりに譲り受けたものだし・・・ だから・・・

真壁 （首を横に振り）商売が軌道に乗ったら、有り難く頂くよ。それまでは、気にするな・・・ なあ、楽しみだな。明日、龍ちゃんに会おうの・・・ （高浜に）行くぞ。

と、退場する真壁と高浜。それを見送るブリンク。傍らの清姫が、ブリンクに語りかける。

清姫 しょうがないだろ。真壁さんはそんな人だよ。

ブリンク 分かってるよ。でも・・・

清姫 そんな「納得がいかない」って顔するなよ。まだまだチャンスはあるって、回想シーンを演じる・・・

ブリンク って、そのことかよ？

顔を見合わせる二人。舞台が急速に暗くなる。

4. 道警の深い闇／贖罪の山羊は／二人三脚したいなら

舞台前方にサス。

携帯電話で話している男。北海道警、組織犯罪対策局銃器薬物対策課課長、柏東城夫（かしわ・としお）である・・・

柏　・・・塚原、忙しいのは分かるが、こっちだってけつに火がつき始めてるんだ。だから・・・

と、舞台後方にサス。携帯を耳に当てた一人の男。稲森会木暮組若頭、塚原貴史（つかはら・たかふみ）である。

塚原　分かってる。折角の柏さんからの電話なんだから、ちゃんと聞いてるって。で、何なんだ、けつに火って？

柏　90年代後半からの不正流用（捜査用補償費の不正使用）の嫌疑で、本庁（本社）の監察官に目をつけられているのは知ってるだろう？

塚原　何だって？

柏　本庁の監察官だ。当然、本庁監察官室の上には国家公安委員会がある。

塚原　マップ調べるマップのことな。

柏　そう、その監察官だ。道警の不正流用のに関して、キャンペーンを張っていた北海道新聞や究明を求める市民団体を黙らせる・・・いや、火を消すのには、あんなに協力的だったのに・・・

塚原　当たり前だ。身内の出火だ。大火事になる前に、小火（ぼや）で抑えない馬鹿が何処にいるんだよ。

柏　で、その本庁監察官室が、今は手のひらを返したように、こちらの腹を探ろうとしている・・・本当のことがばれたら、組織的関与の全貌が明らかになったら、道警だけではすまない。本庁にだって飛び火し大変なことになるのは目に見えているのに・・・

塚原　向こうには向こうの事情があるんだろ？

柏　そうだな・・・本庁監察官室にも独自の政治的な力学が働いている。そう言うことだろう。

塚原　政治的？（鼻で笑い）クソキャリアの利権争いっていうんだよ、それ・・・

柏　もう、こちらとしては保ちそうにない。どんなに貝のように閉ざしても、強引にこじ開けられ、内臓すべて掻き出されそうさ。もはや、猶予なんてない。すべてがさらけ出される前に、こちらで内部調査を進め結果を示すしかない・・・

塚原　手前自身で、腹かっさばいて、臓物すべてさらけ出す気か？

柏　そんなことするわけないだろ。不正の一部を晒すだけだ。それも、一個人の暴走として片付ける・・・

塚原　スケープ・ゴート、か・・・で、贖罪の山羊は・・・岩城か？

柏 ……そうだ。

塚原 ひでえな。岩城はあんたらとうちを繋いでくれた立役者じゃないか。

柏 だからだ……

塚原 (声を殺して笑う) くっくっくっ……

柏 何が可ましい？

塚原 くっくっ。やり方が同じだな…… ごめんな。ちょっと昔を思い出してさ。あまりに似てるんで笑っちゃった。柏さん？ あんただって覚えてるはずだ。9年前のあれ……チャカ摘発の捏造やってたとき、押収される数に比べ、あまりにも「所有者不明のチャカ」の占める割合が多すぎて、問題視されたことがあったろう？

柏 「首無し」な……

塚原 そう、「首無し」だ。ここで外野から煩く言われると、折角軌道に乗ったシノギも続けるのがきつくなる。で、うちの誰かが、「首」差し出すことになった。あんたらに恩売るために、拳銃持参で出頭さ。で、しゃしゃり出たのがうちの真壁だ。まあ、あの頃は俺の兄貴分だったが……

柏 真壁は岩城と高校時代の同級生だったし、だから、岩城のためを思って……

塚原 まずいんじゃないの、ヤクザとマッポでそういうの……

柏 まあ、対外的には、な。

塚原 とにかく、友情だかなんだか知らねえが、真壁さんたら熱くなっちゃってな。どうせ出頭するなら、減免で執行猶予なんて付いたら、恰好がつかねえ、とか言い出しやがって。で、オヤジに「組のために務めてこい」なんて言われたら、ますます盛り上がっちゃって、「チョイと臭い飯喰ってきます」なんて真顔で答えて…… あんまり、面白いんで、あいつがチクるチャカの保管場所にチャカだけでなく、実包(たま)もいっしょにおいといてやった。

柏 実包で、「加重所持」。3年以上の懲役になる…… あれはお前が？

塚原 まっ、この素敵なプレゼントで、ヤツはお望み通り、臭い飯喰える事になったって訳。終始、黙り決め込んでるもんだから、勝手に調書を作成されて、懲役8年だ。でも、ヤツがぶち込まれた代わりに木暮組は大きくなる事が出来た。俺が自由にシノギを広げることが出来るようになったからだがね。

柏 自由に？

塚原 そう、兄貴分であるあいつは、目の上のたんこぶ。こっちが新しいシノギ始めるのにも、いちいち横やり入れてきて…… マジで目障りだった。でも、オヤジの子飼いだろ。かわいがられててさ……

柏 だからって……

塚原 だからって、なんだ？ なあ、柏さん。今度はあんたが俺と同じこと、岩城にするんだよ。分かってんの？

柏 ……

塚原 そうだ、柏さん。岩城ばくするんだったら、ヤツのSの友部も一緒にひっぱちゃってくれない？

柏 友部を？

塚原 そう。あいつシャブ中で使い物にならないし、それに、うちの「チャカ摘発の捏

造」についてかなりの知識を持ってるし・・・ うちから出入り禁止喰らったあの馬鹿が、余計なところで、余計なこと歌っちゃったら、面倒でしょ・・・ そうだ、いいこと考えちゃった。

柏 なんだ？

塚原 友部に岩城、刺してもらおう。あいつなら、ちょっと煽れば、こちらの言うとおりに動いてくれる・・・

柏 どうする気だ？

塚原 まあ、楽しみに待ってな。

柏 だから、どうする気なんだ？

塚原 柏さん。俺と二人三脚したいんなら、俺と同じ速度で走れよ。全速力でな・・・(と電話を切ろうとする)

柏 塚原、ちょっと待ってくれ・・・

塚原 (と、何かを言い忘れたらしく) ひとつ言い忘れてた。岩城な、あいつ。最近シャブ覚えたぞ。

柏 シャブ？ まさか、お前達が・・・

塚原 おいおい、人間きの悪い。木暮組は「シャブ売」やってないから。名目上な・・・これは他の組からの情報だ。なあ、早く岩城をばくれ。他の組からチクられる前に・・・

柏 塚原。本当に岩城がシャブを・・・

塚原 そう言うことにしておけ。分かるよね・・・

と、噛んで含めるように言った後、ゆっくりと携帯電話を切る。

手に持った携帯を見つめ、慔然とそれを折りたたむ柏。

舞台が闇となる。

4. ゴシック・ナイトメア／イノワとか／漂流していた椰子の奥が・・・

明転。

舞台の上にはマリア。それを一本のサスが浮き上がらせている。

マリア In This Moment・・・ 私はいつからここにいるんだっけ？ 思い出せないくらいの昔から、多分地球が出来上がったその日から、気が付いたらここにいたような気がする・・・でも、それは錯覚だって、分かっている。多分2ヶ月と経っていない・・・あれは、卒業式も近づいた、2月の末。琴似（ことに）のペニーレーン24（トゥエンティーフォー）の「ゴシック・ナイトメア」っていう企画ライブでイザベルと出会った・・・赤いタータンチェックのゴシックパンク風の服がとってもキマってて、何でか分からないけど、ちょっとドキドキした・・・壁にもたれてつまんなそうに俯いているその子に、私は思いきって声をかけた・・・

舞台袖につまんなそうに俯いているイザベルに明かりが射す。

マリア （イザベルの服を指さし）ねえ、その服いいね。とっても似合ってる。それ、HELLCATPUNKS（ヘルキャットパンクス）？

イザベル うん。ヘルキャ（←イカす略し方）。

マリア それ、ALTA（と言っても、札幌アルタ店のことだよ）のケラショップで見たことあったから・・・

イザベル よく行くんだ、ケラに？

マリア っていうのも、地下2階の方じゃなくて、もっぱら、上の方だけど。8階の・・・

イザベル ケラショップ・マリア？ っていうか、ロリロリ、ゴスゴスの方ね。（あの、どうでもいいことだけど札幌アルタ店にはケラショップが地下2階と8階の2箇所があって、それぞれストリートとマリアってショップ名が付けられている。で、ストリートはロック・パンク系、マリアはゴスロリ系って分かれているんだけど、そんなことどうでもいいか・・・）で、どんなの好きなの？ 待って待って、その恰好から行くとイノワ（←イカす略し方）とか、マーブルとか？

マリア うん。マーブルもイノセントワールドも好きだよ。でも、私なんかじゃ、とても手がでないよ。高くて・・・

と、他方よりハウリングの音。顔をしかめて耳をふさぐ。

イザベル うっさー。ねえ、出ようか？

マリア でも、次のバンドのが始まるみたい・・・たしか、シャルルヴィルメジェール・・・

イザベル シャルルヴィルメジェール？ なにそれ？ きっと「ラルクのぼったもん」みたいな、気の抜けたビジュアル系でしょ？ 折角、ギタープレイの勉強でもしようと思って、一人で出張ってきたら、この体たらくだよ・・・

マリア　ギター？　ギターやってんだ。
イザベル　そう。バンド組んでる。っていうか、組まされたっていう方が正しいか・・・
マリア　バンドか。いいなあ・・・
イザベル　そうかな？　うーん、そうかも。うんうん（自分で納得して頷く）。やってて楽しいしね・・・　そうだ、うちのバンドのところにでも遊びに行く？
マリア　いいの！　行く・・・（と急に不安になって）でも、バンドの人達・・・
イザベル　大丈夫だよ。気のいいヤツらだし・・・
マリア　でも・・・　ねえ、どんなバンドなの？
イザベル　うーん。ゴスロリ少女バンドっていうカテゴリーかな？
マリア　えっ、みんな女の子なの？
イザベル　うん。っていうか、「女の子」っていうと語弊があるかな、若干一部分に・・・
マリア　なに？
イザベル　さあ、行こう！　きっとヤツらみんな暇してるんじゃないかな。そんな予感がする。行こうよ。ねっ。（と、手を差し出すが、不意に自己紹介をしていないことに気づき）あー、あたし、イザベル。

と、イザベルはにっこりと笑い、マリアの手を握りしめる仕草。
イザベルへの照明が消え、マリアだけの明かりとなる。

マリア　「私は・・・」と自己紹介しようとする暇も与えず、イザベルは私の手を引っ張って、元気よくペニーレーンを飛び出していく。そして、まさに発車寸前の東西線に滑り込む。息を弾ませて、笑い会う・・・　なんでだろ？　さっきあったばかりなのに、小さい頃からの仲良かったみたいで、変だよ・・・　6 駅目の大通で降り、南に向かって歩き出す。月寒通りを越えて少しのところ、路地に入る。酒に酔ったサラリーマン。黒いコートの呼び込み。みんなが私たちを粘っこい視線で見つめる。そう。ここは「ススキノ」の、女の子が二人で手を取り合って歩くには、不自然な場所。そして、不自然な時間帯。不安になる私をイザベルは「大丈夫だよ」と言ってなだめる。雑居ビルの前で立ち止まり、黄色や赤の看板がべたべたと貼り付いたビルだ。「何か騙されてるの、私？」　小さな階段を降りながら、不安になってイザベルの目を見つめた。イザベルの目は優しく笑ったままで、その瞳の奥はどこまでも透明で。人を騙そうって言う目じゃないことは、私にも分かる。だけど・・・　地下1 階。階段を降りたその先に、頑丈そうな扉があった。ちょっと傾いで取り付けられたネオンが明滅している。「In This Moment」。「この一瞬に」そんな意味だろうか・・・　イザベルがノブに手をかけ、勢いよくドアを開く。

金属製のドアが開く音。と、舞台に明かり。
舞台後方に In This Moment の面々（without キクチさん）。
舞台袖から飛び出してきたイザベルが「ただいま！」と声をかける。

ブリック　イザベル。おかえり。早かったね？　ライブ行ってたんじゃ・・・

ジュリア ふにゃチンバンドがてんこ盛りのペニーレーンの「ゴシック・ナイトメア」だろ？
居たたまれなくなって戻ってきたに決まってるだろ。(って、なんかこいつ呑んで
ね？ っていうか、手にグラス持ってね？)

イザベル まっ、そんなとこだけど。っていうか、なんで、お客さんいないの？

清姫 日曜の夜だからかねえ。閑古鳥、鳴きまくりだよ。

ジュリア っていうか、イザベル。お前、外で客引きして来いよ。

イザベル なんで？ あたし、今日、休暇中。っていうか、お前、呑んでね？ すでに出来上
がってね？

ブリク いいから、ふたりとも！ (と、喧嘩を止めに入ろうとして、不意に扉の陰で身を
固くしている女の子に気付く) んっ？ 誰？

イザベル あっ、友達。ペニーレーンで、友達になったの・・・

ブリク イザベルの友達？ なあ、そんなところに突っ立ってないで、こっち来なよ。

マリア で、でも、私・・・

ブリク (微笑みながら、マリアに近づき) あたしはブリク。この店のオーナー・・・み
たいなもんかな。

マリア (怯えて、蚊の鳴くような声で助けを求める) イザベル・・・

イザベル (マリアに駆け寄り) 大丈夫。怖い人じゃない。いい歳こいてゴスってるけど、頭
がいかれてるわけじゃないから・・・

ブリク って、言い過ぎだろ、お前！

イザベル いや、あんまり怯えてるから、なだめようと思って・・・

ブリク なあ、清姫。今日早じまいしちゃおうか？

清姫 はあ？ これからが「かき入れ時」でしょ？

ブリク 客もきそうにないしね。それに、折角、イザベルの友達が来てることだし・・・今
日は呑もうよ。

ジュリア そうだ、そうだ、それがいい！

清姫 って、お前はすでに酔っぱらいだろ！

ブリク っていうか、外のネオン消しちゃえ、プチッ (と壁のスイッチを押す仕草)

清姫 ほんともう、商売っ気のない・・・

と、照明がマリアだけとなる。

マリア こうして訳の分からないまま、酒宴が始まった・・・

ブリク (グラスを二つ持ち、マリアに抱きつくようにして、サスの明かりの中に入る。で、
グラスをマリアの手に渡す) なあ、あんたも飲めない訳じゃないんだろ？

マリア 「ええ、まあ。」と、流れに逆らえず私は答える。でも、ホントはいたずらでビール
をちょっと舐めたことしかない・・・ 「これなんですか？」

ブリク ウイスキーの水割り。じゃあ、乾杯。(と、グラスの縁を当てた後、暗がりへと引っ
込む)

マリア (逡巡しているが、意を決して一気のみ。と、殊の外びっくりして) 飲めた！ は
はは、なんか飲めちゃった！

ジュリア (と、マリアに抱きつくようにして、サスの中に侵入) 結構いい飲みっぷりじゃん。
イザベル (と、ジュリアの逆サイドから、サスの中に侵入) ジュリア。あまりお客さんに絡まないでね。怯えちゃうでしょ！
マリア (小声でイザベルに) イザベル。この人は？ モワーメーム-モワティエを優雅に着こなしていらっしゃるのに、このがさつな態度。どうも解せません・・・
ジュリア 小声でも、ぱっちり聞こえてるから・・・
イザベル だめだよ、ジュリア！ 折角のお客さんが、怯えてるでしょ！

と、マリアから離脱する二人。と、間髪入れず、その空いたポジションに身体を滑り込ませるブリンクと清姫。

ブリンク なあ、清姫。このままイザベルの友達を「お客さん」って、呼び続けるのも変な話しだよな。
清姫 そ、だね。
マリア あっ、私、名前は、圭子（けいこ）、岩・・・
ブ・清 (マリアの口に指をあて) しっ！
清姫 そうさなあ、この見てくれから考えて・・・
ブリンク っていうか、あんた、この服何処で買った？
マリア あっ、ALTAのケラショップ。8階の方で・・・
清姫 8階ってことは、ケラショップ・マリア？
マリア はい。
ブリンク じゃあ、マリアでいいじゃん。
マリア はあ？
ブリンク だから、あんたの名前。
清姫 マリアか。んー・・・(一瞬考え込むが) ぴったりだね！

と、マリアから離脱する二人。

マリア 知らず知らずのうちに名前がついた。マリアだ。私、マリアになった。

と、間髪入れずにマリアのサスに侵入するイザベル。

イザベル みんなの名前はブリンクがつける。
マリア 源氏名みたいなもの？
イザベル 源氏名？ なにそれ？
マリア だからお店の・・・
イザベル よく分かんない。私はイザベル。ここでも何処でも、その名前。それ以外は何もいらない・・・
マリア 他の人達も？
イザベル 私はブリンクがブリンクであることしか知らないし・・・ 清姫のことだって知っ

ているのは、清姫であるってことだけ・・・

マリア　じゃあ、本名とかは？

と、間髪入れずにマリアのサスにイザベルの逆サイドから侵入するジュリア。

ジュリア　本名？　なんだいそれ？（自分を指さし）ジュリアはジュリア。そして、マリアはマリア。

マリア　マリアはマリア・・・　ここでは誰も仲間の本名を知らない。誰も名乗らないし、誰も聞きたがらない。

舞台袖前にグラスを持って立っているブリンクに明かり。

ブリンク　本名とか、何処からきたとか、そんなの興味ないからさ・・・

ブリンクの逆サイドの舞台袖前に立つ清姫に明かり。

清姫　今、この瞬間。未来に向けて動いているこの時。In This Moment で重要なのはそれだけ・・・

ブリンク　ここ、昔、ライブハウスだったんだ。見ての通りの小さなハコだけだね。私が譲り受けて、お店にした。ライブ演奏ありのショーパブみたいのを目指してたんだけど・・・　見てくれ通りいい加減な性格だから、こんな中途半端な形になってる。

ジュリア　ゴスロリ・ショーパブ。興に乗った時だけ、生演奏も・・・

イザベル　演奏って、ライブやるの。いったでしょ、私ギターやってるって。で、ジュリアもギターで、清姫がベース・・・

マリア　う、うん。（ちょっとまた、不安になっちゃって）でも、ショーパブって・・・

清姫　まあ、ショーパブとはいっても、ブリンクに商売っ気が丸でないんで、ほとんど儲けはないけどね。

ブリンク　まあまあ、そう言うなよ。

マリア　みんな、ここで働いてるんだ？

ジュリア　（笑って）働いてるって言うか、遊んでるって言うか・・・

イザベル　でも、暇も潰せるし、お金にもなるし・・・

マリア　いつもは何をしているの？

イザベル　いつも？

マリア　だから、普段・・・

イザベル　普段からここだよ。

マリア　えっ？

ブリンク　こいつらみんな、ここに住んでるんだ。ここっていつでも・・・

清姫　この雑居ビルの最上階に家がある。たいして広くはないけど、この人数が生活するのに困るほどじゃない。

ブリンク　いつの間にやら、ひとりひとり集まってきた。ここに・・・　In This Moment は、

きっと、札幌の風の吹きだまりなのかもね・・・

ジュリア 待ってよ、ブリンク。それじゃまるで私たちみんな「綿ゴミ」みたいな言われ方じゃん・・・

清姫 大海原を漂流していた椰子の実が、小島の浜辺に打ち上げられた。幸運なことに、そこにはふんだんに水があり、ふんだんな日光が降り注いでいた。椰子の実はそこで芽を出し、根を張った。南の島では、ごく自然に起こる普通の出来事・・・

ジュリア いい比喻じゃん。

と、ジュリアが離脱。舞台袖に消える。

ブリンク いい比喻か？ 南の島のリゾート感なんて、これっぽっちも感じないけど。

袖からジュリアが再び登場。手にアコギを持っている。

ジュリア ねえ、ブリンク。今夜は気分がいいから、歌おうよ。

イザベル ジュリア。そんなに酔っぱらってて、弾けるの？

ジュリア 酔えば酔うほど、よくなるんだよ。私のギターは・・・

清姫 酔拳か？ お前のギターは？

ジュリア なあ、いいだろ？ ブリンク。

ブリンク じゃあ、やるか！ そうだ、マリア、楽器は？

マリア (黙って、首を横に振る)

ブリンク じゃあ、一緒に歌うか？

マリア 歌う？

ブリンク そう。音痴じゃないんだろ？

マリア (曖昧に頷く)

ブリンク (微笑んで) じゃあ、ツイン・ボーカルで。清姫、マリアにマイクを。

清姫 はいよ。

と、舞台袖に消える4人。舞台の上にはマリアが一人。

マリア ……酔った勢いも手伝って、私はブリンクに教えてもらった知らない歌を歌った。「うまいね」とかおだてられながら、歌いまくった。ちょっと悲しげだけど、すごいノリのいい歌。Prayers・・・ 仕舞には、ギターをアンプにプラグインして、爆音で・・・ 真夜中なのに、こんなことやっていいのかな？ そんなそんな疑問なんて、アルコールで麻痺したおつむで考えられるわけもなく・・・ イザベルが「きれいな声してる」って褒めてくれた。ジュリアが「すげえ、ノリがいい歌い方だ」っていつてくれて・・・ だから私、調子にのって歌いまくって・・・ そこで記憶が途切れる。どうやって家にたどり着いたのかまるで憶えていない。気が付くと自分のベッドの上で丸くなってた。服も着替えずに・・・ 頭がガンガン鳴っていて・・・ 生涯初めての「二日酔い」だ。月曜日なのに学校へは行かなかった。

いや、行けなかったんだ。ふとんの中で、昨日の夜のことを思い出していた。In This Moment。ススキノの中にあるのに、全く違う空間。なんでだろ？ 私、人見知りすごいのに、どうしてあんなに自然にうち解けることが出来たんだろう。一瞬のうちに家族が出来た、そんな感じだった。ママが天国に行った時に、同時に私は「家族」というものを失った。確かに戸籍上の父親というのは存在していた。そして、この官舎の同じ屋根の下で10年近くも共に暮らしていたはずだ。でも、会話と呼べるものはほとんどなかった。顔を合わせることにすら、珍しいことだった。私がと言うより、父親の方が私に会うのを避けていた。いや、お互い様だ・・・ むかつきも頭の痛みもうそのように消え去った真夜中、私はベッドを抜け出し、スーツケースを取り出す。ママが使っていたものだ。新婚旅行の時に買ったんだって。でもそれ以外使ったことはないって、ママはそう笑って・・・ ママのスーツケースに、ママの思い出と共に、お気に入りの服を詰め込めるだけ詰め込む。マーブルのドレスワンピース。アンシンメの。イノウ風のセシルジャンパースカート。これ、ぼったもんだけど、超お気に入り。そして、A+LIDEL（エーリデル）の黒のパーカー。フリルレースのついたかわいいの・・・ ススキノまで地下鉄に乗って移動する間、父親宛の置き手紙の、その内容について、後悔し続けた。父親は警察官だ。その気になれば、組織力で・・・ ひいき目にみても、捜査の出鼻を挫くような出来の良いストーリーをでっちあげたとは思えなかった。単に感情的なだけの、独りよがりの駄文。出来ることなら書き直したい。でも、折り返す終電車で、あの冷たく寂しい官舎に戻る気など更々なかった・・・ 酔っぱらったオヤジで溢れかえるススキノの路地。人混みをかき分けるように、スーツケースを引きずって歩く、私。好奇の視線なんか、気にしている余裕なんか、少しもなかった。In This Moment が見つからない。どの路地も、どの辻も、私には同じに見えた。ススキノは、私にとってはまるで迷路だ。歩き疲れて、足が痺れるようにいたい。大切にするあまり、あまり履き込んでいなかった DEMONIA（デモニア）のパンプスの所為だ・・・ どんなに焦って歩き回っても、In This Moment へ行き着けない。昨日のことは夢だったんじゃないか、すべてが私自身の作り出した妄想なんじゃないか、そう思い始めていた。無性に悲しくなって、アスファルトの上にへたり込んで、大声で泣き出したくなる。鼻腔の上の方がつーんとしてる。緩んだ涙腺が、視界を曇らせる・・・ 疲れ果て、諦めかけたその時、潤んだ瞳に、見覚えのある雑居ビルが、映った。黄色や赤の看板がべたべたと貼り付いた古ぼけたビル・・・ 頑丈そうな扉。ネオンが明滅するネオン。「In This Moment」。中からは物音ひとつ聞こえてこない。ドアのノブに手をかけて、一瞬躊躇う。鍵がかかっていたらどうしよう？ いや、ドアの向こうには誰もいなくて、何もなくて。私を待っていたのは、薄汚れた打ちっ放しのコンクリートの上に横たわる殺鼠剤を食べて死んだネズミの死骸ひとつ・・・ 全部が嘘、すべてが私の妄想・・・ そんな、不吉な考えが私の頭を支配する・・・ 深呼吸し、ノブを回す。ゆっくりとドアを開く・・・

ドアがゆっくりと開く音。
舞台の後方に立っているブリックに明かり。

ブリク (優しい笑顔で) マリア、おかえり。早かったね。
マリア ただいま。

大海原を漂流していた椰子の実が、小さな南の島の浜辺に打ち上げられた。やがて椰子の実はそこで芽を出し、根を張るのだろう。南の島ではごく自然に起こる普通の出来事 . . .

ブリクの母のように優しい笑顔。泣き顔のマリアがどうにか笑顔を作ろうと必死になっている . . .

やわらかな闇がゆっくりと舞台を包み込んでいく。

6. 25年ぶりの再会／ソダンといっしょ／今朝の新聞に・・・

女の子たちの嬌声。

明転。ここは「In This Moment」。

In This Moment の面々と、高浜、真壁。加えて、藤代がいる。

清姫とマリアが高浜、藤代に付いている。ブリンクを含む残りは真壁の周りにはいる。

高浜 ……へえ、剣崎の兄貴は、その昔警察にいたって訳ですか？
藤代 余り大きな声では言えねえけどな……
清姫 悪徳警官ってヤツね。
高浜 悪徳とか言うなよ。なんか、すげえ悪いヤツみたいじゃねえか。
藤代 とにかく、裏も表も全部知ってるんで、組としては重宝してますよ。
高浜 で、組の相談役っていう大役を背負っている……
藤代 そう。たくさんのパイプ持ってるだけじゃなく。本当に頭の切れる良い兄貴分です。
まあ、社会的に良い、悪いは別として……
清姫 やはり、それは別なのか……
高浜 ったりめえだろ。俺ら裏家業なんだから。こう見えても、お互い堅気じゃねえ世界で生きてるんだ……
マリア 十分、堅気には見えませんよ。お二人とも……
高浜 だろう？ ほら、マリアちゃんだって、褒めてくれてる……
清姫 褒めてんのか、今の？
高浜 まあ、良いじゃねえか。とにかく今夜はめでたい日なんだ。新しいビジネスで横浜とラインが繋がった。喜ばなくてどうする。てなわけで、かんぱーい！

乾杯する4人。「何度乾杯すれば気がすむんだ、お前……」と清姫が微妙なツッコミを見せる中、照明が振り替わり、真壁らが照らし出される。

伊バベル ……恐怖の9番打者？ 真壁さんが？
ブリンク 第64回全国高等学校野球選手権、南北海道大会。一回戦、準々決勝と連続でホームランを放った。
ジュリア ヘえー、すごかったんだ。真壁さん。
真壁 偶然だ。あんなもん……
ブリンク 謙遜しちやって。あの時のオーラ、すごかったんだから。まさに「恐怖の9番打者」。池田の山口君みたいなもんよ。
ジュリア 池田？
伊バベル 山口？
ブリンク だから、池田高校よ、徳島の？
真壁 あのさ、分からねえって、こいつらにそんなこと言っても……
ブリンク でも、蔦監督率いるやまびこ打線とかさ。普通、知ってるでしょ？

バベル ツタの絡まるチャペルで？
真壁 そんなこと言ってないだろ？ もう、いいからさ、野球の話しなんか・・・
ブリク っていても、野球の話以外、何があるって言うの？

と、登場する剣崎。トイレから出てきたみたい。おしぼりを持ち駆け寄るマリア。

剣崎 ありがとう。マリアちゃん。でもさ、びっくりだな。ここトイレの便座、金色だし。
マリア ブリンクの趣味で、ちょっとロココ調なんだ。
剣崎 ふーん、まあ露骨と言えば、露骨だな・・・
マリア (弾ける笑顔で、だが、きつめに突っ込む)「露骨」じゃなくて「ロココ」だよ。お
っちゃん。っていうか、剣崎さん。高校時代セカンドだったの？
剣崎 まあね・・・
マリア セカンドって、どういうポジション？ っていうか、8番だから、砂川さんみたい
にミッドフィルダーみたいなものなの？
剣崎 ミッドフィルダー？ 砂川？
マリア そう、コンサの背番号8番は砂川選手でしょ・・・
剣崎 コンサって、コンサドーレ札幌？
マリア うん。
剣崎 でも、8番っていうのは打順で、背番号じゃ・・・
マリア だじゅん？
剣崎 だから、打順っていうのは・・・(説明するのが面倒になる)とにかく、背番号はセ
カンドだから4番。
マリア 4番！ じゃあ、ソダン(注：コンサドーレのDF 曾田雄志のこと)と一緒に。すご
いじゃん！
剣崎 そだん？
マリア うん！ 曾田選手。コンサドーレの・・・
剣崎 だから、サッカーじゃねえし。ははは・・・(しょうがないので笑うしかない)
マリア そうだね、ははは・・・(付き合っ、愉快地に笑う)

と、舞台後方から剣崎の元にやってくる真壁。

真壁 なんだよ、なんだよ。楽しそうじゃないか、龍ちゃん。
剣崎 まあな、そこそこ・・・(マリアを指さし)っていうか、最近の若い子は野球知
らないのか？
真壁 そんなことはないだろ。当然、マリアも日本ハムとか知ってるよな？
マリア うん。たまに食べる。
真壁 (げらげら笑って)そうか、たまに食べるか。ははは、最高だ・・・
マリア 真壁さん？ 何が可笑しいの？

と、清姫が席からマリアに呼びかける

清姫 マリア。何油売ってんだい。早く戻って来な。
刈ア 呼んでるから、行きます。また後でね・・・

と、マリアが退場。舞台前方には剣崎と真壁だけとなる。

真壁 龍ちゃん。楽しんでもらえてるか？
剣崎 ああ。涼。十分に楽しんでるよ。それに晴子ちゃんにも会えたし・・・
真壁 しっ、晴子じゃねえ、ブリンクだ。ブリンク・・・ そう呼ばねえと、怒られるぜ。
剣崎 そうだ。ブリンクだったな・・・
真壁 でもよお、それ含めて、変な店だろ？ あいつの趣味なのか、なんか知らねえが、
変なのばかり集まってきて・・・ なんか、バンドのまねごとみたいなものやっ
ててな。へビメタだかなんだかよくわからねえが・・・ でも、YOSAKOI ソーラン祭
りの、なんとかライブ・フェスに出場しようと、素人なりに本気で頑張ってる。と
は言っても、ここ3年連続で予選敗退だがな。セミファイナルまで行くんだが、そ
こから先に進めない・・・
剣崎 セミファイナルで敗退、か・・・
真壁 そうだ。なんか、俺たちと一緒にだな・・・

真壁の目線が下を向く・・・ 剣崎の口から、独り言のように言葉が漏れ始める。
独り言？ いや、それは単に心の中で呟かれたもので、声にはなっていないのかも
知れない・・・ だって、照明がそれとなく、それらしく微妙に変化してるし・・・

剣崎 南北海道大会、準決勝・・・
真壁 82年7月25日、札幌円山球場・・・
剣崎 9回裏。函館有斗の攻撃。一死二、三塁の一打サヨナラの大ピンチ。
真壁 内野は前進守備、抜ければ負けだ・・・
剣崎 頭の中で何度も繰り返されるシミュレーション。凡打が転がってきたら、捕球後、
三塁ランナーを見る。走る気なら、本塁へ。戻る気なら三塁に送球する素振りを見
せ走塁を牽制し、すぐさま一塁へ送球・・・ それでいい。それで、危機を乗り切
れる・・・
真壁 バッターは打気満々。ピッチャーの岩城がそれを見透かしたように外角に放り続け
る・・・
剣崎 カウント1-3。一塁は空いている。別に歩かしたっていいんだ。どうする岩城？ で
も、岩城なら・・・
真壁 セットポジションからの5球目。胸元に食い込むような内角球。シュートだ。往年
の平松（注：平松政次。大洋ホエールズ [現、横浜ベイスターズ] の名ピッチャー。）
みてえな切れのいいシュート。差し込まれながらも手を出してしまうバッター。芯
を外れた打球が転がっていく・・・
剣崎 82年7月25日、札幌円山球場。えらく暑かったあの日・・・

と、剣崎の台詞の言い切りに合わせ、照明が元に戻る。

真壁 甲子園に行けるって、学校中が期待してた。・・・でも、あんな終わらせ方させちまったから、顔向けできなくなって・・・ よりにもよって、「サヨナラ大暴投」だもんな。俺の・・・

剣崎 涼。でもそれは、俺の・・・

真壁 なに言ってるんだよ。龍ちゃんは何も悪くねえだろ。俺がバックホームを暴投しなきゃ・・・

剣崎 涼。違う。俺が・・・

真壁 違わねえよ。俺が自ら全部ぶちこわしにしたんだ。甲子園の夢も、何もかも・・・ あいつを甲子園のマウンドに立たせてやりたかった。甲子園で投げまくる岩城を本当に見たかった・・・

剣崎 涼・・・

真壁 (自嘲気味に鼻で笑い) 野球の話をしたのなんか25年ぶりだよ・・・ まあ、お前とこうして再会したわけだから、野球の話もしないわけにはいかないか・・・ (と、急に真顔になり) なあ、龍ちゃん？

剣崎 何だ？ 急に真顔になって・・・

真壁 お前、今朝の新聞見たか？

剣崎 いや・・・何かあったのか？

真壁 なあ、ちょっと外に出ないか？

剣崎 外？

真壁 ああ。

と、真壁が剣崎と共に出て行こうとする。が、ブリンクがそれに割ってはいる。

ブリンク なんだよ。挨拶無しで、出て行こうって言うのか、涼？

真壁 ちょっと、外の空気を吸いに行くだけだ。龍ちゃんと・・・

ブリンク そんな神妙な顔してか？

真壁 神妙？ 何処が・・・

ブリンク (たしなめるように) 涼。・・・分かってるんだよ。このことだろ？ (と、手に隠し持っていた新聞[当然、北海道新聞]を真壁に示す)

真壁 いや。ただ、外の空気を吸いたいただけだ。すぐ戻る。

ブリンク (何故か心配げに) 涼？

真壁 行こう、龍ちゃん。(出て行く)

剣崎 晴・・・いや、ブリンク。すぐ戻るから・・・

真壁の後を追い、退場する剣崎。新聞を手に立ち尽くすブリンク。
と、それに駆け寄るジュリアとイザベル。

イザベル あれ？ 真壁さん帰っちゃったの？
ブリク すぐ戻ってくるって・・・
ジュリア っていうか、何で新聞持ってるの？
ブリク (手に持っている新聞を不思議そうに眺め) ああ、これ？ 何でもないよ。
ジュリア なんでもなくないだろ？
イザベル ブリンク、「なんでもなくない」って、顔に書いてる。
ジュリア 何があったんだよ。新聞に、何か載ってるの？
ブリク (誤魔化すのを、断念し)・・・高校時代の知り合いが、ぱくられた。涼と剣崎先輩のタメ。っていうか、一緒に野球やってた仲間。ピッチャーだった。(と、ジュリアに新聞を渡す)
イザベル なんでぱくられたの？
ブリク シャブ。
ジュリア (新聞をめくっていたが)・・・なあ、ブリンク。その記事って、これ？ おい、おい、こりゃ大事だぜ・・・
イザベル どうしたの？
ジュリア (声が大きくなる)シャブでぱくられたのは、そんじょそこらのちんぴらじゃねえ。マッポだ。
イザベル 警官。
ジュリア それも警部だぜ！組織犯罪対策局の警部、岩城圭昭・・・

と、ガラスが碎ける音が響く。びっくりして振り返るブリンクら三人。舞台後方で呆然と立ち尽くすマリア。傍らの清姫が叫ぶ。

清姫 マリア。なんだよ、急に！ (デキャンタが割れ、藤代のスーツにウイスキーがかかってしまったようだ) すいません。藤代さん・・・
藤代 いやいや、大丈夫だよ・・・
高浜 こら、マリア。なに粗相してんだよ。
清姫 イザベル、お手ふき持ってきて。ジュリア、箒とちりとり！

清姫の指示に従い、頷いて裏にはけるイザベルとジュリア。

清姫 藤代さん。いいですから、こっちでやりますから・・・ 触ると怪我しちゃいますよ・・・
高浜 清姫。俺にも結構かかっているんだけど、フォローねえの？
清姫 ケンちゃんは、後・・・

藤代のスーツを拭こうと清姫が手にしたおしぼりを、藤代が「いいから・・・」と受け取り、自分で拭こうとする。
立ち尽くすマリア。それを見つめるブリンク。二本のサスがそれを浮かび上げらせ、やがて舞台は暗転する・・・

7. 願われた沈黙／作られた摘発／示すべき男気

舞台上に立っている柏。

眼前の誰かに語りかけるように、しゃべり出す。とても優しく・・・

柏 まさか、友部がお前を刺すとはな・・・ 更には、仕方なく任意同行したお前の尿が陽性反応・・・ 岩城、まさに道警の中は蜂の巣をつついたような騒ぎだよ・・・ 分かっている。疑陽性だってことは、分かっているさ。きっと、お前が飲んでいた風邪薬の所為だろ。精密検査ではきっと・・・ でも、これで、お前の身柄を保護することが出来たんだ。間一髪でね・・・ 少しでも遅れていたら、お前の身に、危険が・・・ そうだ。木暮組だ。友部が歌うのを、組は警戒している。例の件をね・・・ そして、刺されたお前から芋づる式に、すべてのカラクリがばれてしまうのを畏れてる。そのためにはお前を消すことだって辞さないだろ。だから・・・ ン？ 友部か？ ああ、そうだ。ヤツは洗いざらいぶちまける気だろう。あれは自首なんてもんじゃない、自爆テロだ。標的はヤツが破門になった木暮組だが、当然それに深く関係した俺たちも対象であることは疑いがない。それだけでなく、激震は道警全体や本庁に戻った当時のキャリアまで及ぶだろう・・・ そうなったら、道警の、警察組織全体の威信は地に落ちる。・・・ 岩城、分かるだろう？ 俺たちがある程度の泥をかぶり、そして、組織を守るしかない。だから・・・ とにかく、友部が何処まで歌たうか、様子を見よう。

と、照明が変わり、舞台奥に立つ塚原にも明かりが射す。

柏の優しげな顔がぬぐい去られたように無表情となる。

塚原 柏さん。お忙しいところ変なところに呼び出してすみません。でも、この微妙な時期に、我々の関係が表沙汰になったら、しゃれになんないからね。で、岩城の方は？

柏 大丈夫だ。今のところは、捜査員の尋問に対し沈黙を通して・・・

塚原 で、この先は？

柏 家宅捜索で岩城の自宅から、覚醒剤が発見される・・・

塚原 へえ？ 仕込むのか？

柏 岩城がもともと所持していたものだ。

塚原 はあ？

柏 Sである友部の足かせ。パケに友部の指紋がべったりくっついているそうだ。

塚原 岩城も馬鹿なことをしたもんだ。それが逆に自分の首を絞めることになるって言うのに・・・

柏 そして再逮捕。私の指示通りに供述調書が作文される。

塚原 岩城の単独暴走・・・

柏 そうだ。これに関しては上層部の了解を取り付けてある。

塚原 波風が立つのは仕方ないが、決して大津波にするな、か・・・

柏 そんなところだ・・・

塚原 でも、因果なもんだな、岩城も。ヤツが繋いだ拳銃摘発偽装。みんなそれにわらわら群がった連中からトカゲの尾っぽみたいに切り捨てられようとしているだもんな。

柏 仕方ないだろう。ことをこれ以上大きくするわけには・・・

塚原 でもよ。落ち着いて考えれば、本当に悪いのは当時の警視庁のお役人や政治家だぜ。だって、拳銃押収、一丁につき100万円の奨励金だぜ。そんな予算組んじゃったら、みんなズルするだろう？ 何で、そんな・・・

柏 ・・・・オウムによる国松長官狙撃事件に後押しされるように、特別会計予算が通ったんだ。

塚原 国松・・・ そう言えば、そうだったな。にしても一丁100万円はねえだろ？ ソ連崩壊後、ロシアからただ漏れになったマカロフ（黒星）なんて、その頃、米ドルで200切ってたぜ。2万円そこそこだ。2万円が100万円に化ける。ロシアとのパイプ作ってチャカさばいてた俺にとっちゃ、美味しい話だった。売買価格が3倍に跳ね上がる上に、商売相手は警察だ。ぱくられる心配もねえ・・・ 俺らは拳銃を用意し、コインロッカーや廃屋に隠す。で、あんたらがそれを摘発する。俺らは一丁100万円でそれを請け負った。あんたらは捜査用報奨費というザル予算からその経費を支払った。領収書不要の現金払い。報奨費予算はまさに「使途不明金」作り出すための「カラクリ」だ。

柏 捜査に関係する謝礼金などに使われる予算だ。捜査上の秘密を守るため、領収書の提出は必要ない。それだけだ・・・

塚原 でも、拳銃買うのに使っちゃ、ダメでしょ、柏さん？ 一丁の摘発あたり100万円の奨励金が、後におたくらに入るので、そっちの懐はちっとも痛まない。それどころか押収実績として「点数稼ぎ」まで出来ちゃう。あん時のあんたの上役なんて言ったっけ？ 青木さんだっけ？ あのキャリア、そうやってポイント貯めて、うはうはで本社戻ったんだろ？ 大栄転で・・・

柏 青木さんのことは、関係・・・

塚原 大ありだろ！ おたくらが組織的にやってたんだらうが？

柏 ・・・・

塚原 あの頃が懐かしいよ。一年で80丁は捌いたね。これだけで年間売り上げ8,000万だ。今でこそ、大した額じゃねえが、駆け出しの頃の俺には、大金だったよ・・・ あれから十年か・・・ 長い付き合いだな、俺たち。これからも仲良くやっていこうぜ。腹割ってさ・・・

柏 ・・・・捜査用報償費の使用に関しての締め付けはどんどんきつくなってきている。拳銃摘発の情報提供者に関しても、その謝礼金は10万円と規定されるようになってきた。あの頃のように、いい加減ではいられなくなってきたんだ、分かるだろう？

塚原 お金じゃないよ。大切にしたいのは、柏さんとの関係だ。こっちが受け取った報償費の大部分を、柏さん個人に還流してるんだからさ・・・

柏 大部分？ 私が受け取っているのは、ほんの・・・

塚原 ほんの？ ほんの、なんだ？ なあ、柏さん。あんたが宮ノ森に瀟洒な一軒家立てられたのも、可愛い娘さんをアメリカの大学に留学させることが出来たのも、全部、

その還流のお蔭だろうが? ……だよな? こうやって、持ちつ持たれつでやってきたんだ。これからも頼むよ。柏さんの定年退官までさ。だから、今、転げるわけには行かないんだ、お互いに……分かるよね?

柏 ああ。

塚原 よかったよ。思いは一緒ってことが分かって……なあ、ところで、友部の方は、元気か?

柏 友部?

塚原 そう。ヤツは元気そうか?

柏 ああ。

塚原 そりゃ良かった。なあ、思うんだが……今のうちに友部の口封じ手おいた方がいいじゃないかな?

柏 口を封じ……

塚原 岩城が組織のために折角口つぐんでくれてるのに、あいつにべらべら歌われたら、面倒が増えるだろ。なにしろ、あいつは知りすぎてる。いろいろとな……だから……(首を横一文字に切り裂く仕草)

柏 友部を? ヤツは拘置所の中だぞ!

塚原 だからだ。あんたになら、できるだろ? 簡単にさ……

柏 馬鹿言うな!

塚原 甘いね。遅かれ早かれあんたの首を絞めることになるぜ。だから、今のうちに……柏さん、男気見せろよ。あんたなら出来るって……

沈痛な面持ちのまま、柏が退場する。

と、携帯電話の呼び出し音。塚原が携帯を取りだし耳に当てる。

舞台後方に現れる高浜。

高浜 高浜です。

塚原 謙二か? 今どこだ?

高浜 真壁さんの行きつけのパブです。トイレからかけてます。すいません。連絡が遅れて……

塚原 で?

高浜 はい。横浜からのお客人とのビジネスは上手くい進みそうです。費用その他の点でも、折り合い付きそうです。やっぱり、真壁の兄貴がいてくれたお蔭で、話がうまく……

塚原 で、どうなんだ、あいつの様子は?

高浜 あいつ? 真壁さんのことですか?

塚原 ああ。それ以外何があるんだよ。変わった様子はねえか?

高浜 別に……

塚原 あのなあ、うちの組と浅からぬ関係のあるマッポがぱくられたんだ。それもあいつの高校時代の知り合い、いや、親友か? それがぱくられた……情に厚いだけが取り柄のあいつなら、何かしでかすに決まってる……

高浜 でも・・・

塚原 でもも、クソもねえ！ 長六四喰らって、多少油っ気は抜けたみたいだが、未だ暑
 苦しいままだろ。オヤジが死んで、組はすっかり変わっちまったっていうのに、あ
 いつだけは・・・ なあ、謙二、ちゃんと見張れよ。

高浜 ・・・・・・・・

塚原 どうした？ 返事は？

高浜 は、は、はい・・・

塚原 何かあったら、すぐに連絡しろ。いいな・・・

唐突に電話を切る塚原。舞台に闇が落ちる。

8. ススキノの夜／密な連携／2,000万の借金

舞台の上に剣崎と真壁。遠くで行き交う車の音。通り過ぎるサイレン。ススキノの外れ。橋の欄干。護岸工事された川。水面がネオンを反射し、きらきら光る。

真壁 ……龍ちゃん。マッポの世界とヤクザの世界。その両方を知る龍ちゃんなら分かるはずだ。岩城は、うちの組と浅からぬ関係がある。十年以上の長い付き合いだ。最初は拳銃の摘発偽装だった……

剣崎 拳銃？ 摘発奨励金か？

真壁 一丁100万円の、例のあれだ。当時、何処の警察署でも大なり小なり行われていたはずだ。道警だけではなく……

剣崎 多分な……

真壁 絵を描いたのは、塚原だ。知っての通り……

剣崎 ロシアン・タレント・プロダクションの代表取締役……

真壁 で、うちの若頭筆頭だ。当時、塚原は蟹の密漁絡みで、ロシアとパイプを繋いでてな……で、マカロフの密輸も労せず行えた。

剣崎 塚原が密輸したマカロフを岩城に摘発させていた。繋いだのは……

真壁 俺とうちの組に出入りしていた友部という男だ。友部は岩城にシャブで二度ぱくられ、それをもみ消してもらった代わりに、岩城の飼い犬になった……

剣崎 岩城のS？

真壁 そうだ。Sだったと言うべきか……で、そいつが岩城を刺したんだ……きっと、保身のためだろうが、俺には錯乱としか思えねえ。救いようのねえシャブ中だったからな……

剣崎 涼？

真壁 なんだ？

剣崎 岩城は本当にシャブを？

真壁 分からねえ……そうじゃなければいいと思ってる。実は、ム所から出てから、一度も会ってないんだ。なんか上手く言えねえけど、気後れしてな……

剣崎 気後れ？

真壁 ああ。(自嘲気味に笑って)よく分からねえや……なあ、龍ちゃん。岩城がシャブ喰ってるとは思えねえが……それに関係しているのは確かなんだ。

剣崎 関係している？

真壁 うちの組はシャブ売はやっていない。だが、塚原がロシア経由で北朝鮮のシャブを密輸してるって話だ。上の稲森会のシノギなんだが……

剣崎 それが札幌の暴力団に流れてる……

真壁 稲森会系だけでなく浜口組の方にもな……でかいシノギだ。当然マッポだってそれには気付いてる。でも、気付きながら、目こぼししてるんだ。資金の環流、ロンダリング……それがマッポとの密な連携によって行われてるって事だ。

剣崎 拳銃摘発の偽装の時と同じようにか？ 根が深いな……

真壁 塚原はシャブの密輸を、組の中でもごく限られた連中とだけ行っている。徹底した秘密主義だ。だから、詳細は分からない。だが・・・

剣崎 だが、どうした？

真壁 組とマップを繋いでいる、つまり、賄賂の流通を管理させられているのが、岩城だって噂がある。

剣崎 岩城が資金環流を？

真壁 やらされているんだ、仕方なくな。組からの金を警察の偉いさんに分配するだけの係だ。道警の官僚と塚原にいいように使われてるんだよ。

剣崎 何故、あいつが？ 一旦染まったら、そう簡単には・・・って、ことか？

真壁 それだけじゃなく、岩城には借金がある。

剣崎 借金？

真壁 塚原に2,000万の借金だ。だから逆らえねえ・・・

剣崎 2,000万って、あいつ一体？

真壁 もう、9年前の話になるか・・・ 岩城の女房が入院した。優子ちゃん、覚えてるか？ 三組の・・・

剣崎 (遠い記憶を呼び覚まし)・・・ああ。あの優子ちゃんが岩城と。でもどうして、入院したんだ・・・

真壁 急性骨髄性白血病。

剣崎 白血病？

真壁 骨髄移植しか助かるすべはなかったが、ドナーなんか簡単に見つかるもんじゃない。で、塚原が当時はしりだった「臍帯血移植」の話を岩城に持っていった。

剣崎 臍帯血なら、適合性は関係ないか・・・ でも、無保険の自由診療になるだろ？

真壁 塚原が海外の民間バンクを見つけてきて臍帯血移植の話を進めた。費用の2,000万も塚原が肩代わりしたそう。当然その額は、ヤツの言い値だったが・・・

剣崎 で、優子ちゃんは？

真壁 (悲しげに、首を横に振る)

剣崎 そうか・・・

真壁 優子ちゃんが亡くなったのを、俺は拘置所の中で聞いた。後になってからだ。だから、岩城にも慰めの言葉ひとつも・・・ それにな。岩城には一人娘がいた。圭子ちゃん。当時、まだ9歳だ。それが、突然、お袋を失ったんだ・・・ 不憫で、不憫でならなかった。でも、俺はそのまま実刑を喰らい、娑婆に戻れなくて・・・

剣崎 涼・・・

真壁 なあ、龍ちゃん。確かに岩城は人から見れば一端の悪徳警官だ。だから、ぱくられたってしょうがないのかも知れない。罪は罪として、罰は受けるべきだろう。でも、岩城をいいように使って、旨い汁吸った上役や官僚連中の方が、罪は遙かに重いんじゃないかねえか？ 今回の件は、なんか裏がありそうな気がするんだ。友部みたいな半端者が、後先考えず、岩城を刺した。そんな筋書きはありえねえだろ？ なあ、まさか、岩城が一人で泥かぶって終わりって事はねえよな・・・

無言で川面を見つめる二人。ススキノの夜に闇が訪れる。

9. ガサ入れ／覚醒剤に加え拳銃が一丁／攻撃を仕掛けているときこそ

舞台上に立っている藤代。そこへ剣崎が現れる。

藤代 昨夜は何処行っていたんですか？ あのまま、二人で消えちゃって・・・
剣崎 ただ、橋の欄干で語り合っただけだ。
藤代 またまた。いいところへ行っちゃったんでしょ？
剣崎 んなこたない。25年ぶりに会ったんだ。昔話が尽きなくてな。
藤代 (全く信じてない) まあいいですよ。でも、その手のヤツは経費で落ちませんから・・・
剣崎 知ってるよ。で、どうだった、岩城の家は？
藤代 予想通り、ガサ入ってました。周りの住人に聞いたところでは、かなりの数の段ボール箱での押収が行われたようです。その中には岩城個人のPCも含まれていたようですが・・・
剣崎 お前、どうでもいいけど、その態(なり)で聞き込みを？
藤代 はい。手帳持っていますから・・・ 周りの奥様連中は道警と警視庁の違いをよく分からないみたいで。まあ、軽く箝口令は敷かれていたようですが、ちょっと突いただけで、聞きたくもないことまで・・・
剣崎 なあ、圭子ちゃんは？ 岩城の一人娘の・・・
藤代 ああ、それが・・・(と、言い淀む)
剣崎 どうした？
藤代 どうも、いなくなっちゃったみたいなんです。3月に家出したとの噂が、周りの奥様連中の中でまことしやかに・・・
剣崎 家出？
藤代 はい。岩城は必死で隠そうとしていたようですが、なにせ官舎ですからね。プライバシーなんて・・・
剣崎 搜索願は？
藤代 (首を横に振る) 分かりません。でも、隠そうとしていたぐらいですから・・・ 奥様方の弁を借りれば、岩城と娘の圭子は決して仲がよいとは言えなかったとのことです。岩城の妻の・・・
剣崎 優子・・・
藤代 そうです。彼女が9年前に亡くなってから、岩城の家庭は変わってしまった。そう、みんなが口を揃えて・・・
剣崎 (考え込んで)・・・
藤代 どうしたんですか？
剣崎 なあ、さっき、個人用のPCまで持ち出されたって言っていたよな？
藤代 ええ。まあ、順当と言えば順当なんですけど・・・でも、あまりの手際の良さです。逆に、こう考えるたくなりますね。家宅搜索したいから、勾留した、と・・・
剣崎 PCね・・・ (と考え込むが)なあ、藤代。

藤代 はい。

剣崎 (言い辛そうに) これは噂なんだが・・・ 岩城は、ロシア経由での大規模な覚醒剤密輸とその流通に多少関係していた可能性があるそうだ。

藤代 シャブ? 真壁からの情報ですか?

剣崎 (ちょっとむっとして) 情報ソースは明かせない。

藤代 すいませんでした。でも、ロシアからの覚醒剤密輸といえば、キー・パーソンは塚原ですか?

剣崎 (頷いて) 道警はそれを認識していながら、未だ嘔まずにいる。

藤代 泳がせている?

剣崎 いや。信じられない話だが、結託している可能性がある。目こぼしをして、代わりに利益を得ている・・・

藤代 汚職。・・・どころの騒ぎじゃないですね、それ。で、それを繋いでいるのが、岩城? でも、官舎住まいだし、そんないい暮らしをしているようには・・・

剣崎 岩城はいいように使われていただけだ。マルBから道警への賄賂の分配を管理してただけに過ぎない。多分、取り分は大した額ではなかったろう・・・

藤代 何故、いいように使われているんですか? おかしくないですか、それ?

剣崎 岩城には、逃げるに逃げれない理由があるんだ・・・

藤代 それは、一体・・・

詳細を語り出そうとする剣崎。照明がゆっくりと暗くなっていく。

と、代わりに、他方に現れる柏に明かり。神妙な顔つきで、正面に向かって語り出す・・・

柏 ...岩城。今朝、君の自宅を捜索させてもらった。1.8gの覚醒剤が押収された。・・・分かっている。友部の指紋が付いているんだろう。・・・しかしだ。どの様な理由にせよ、覚醒剤の所持は・・・分かるよな。・・・我々銃器薬物対策課が捜査のイニシアチブを取っているのだから、うまく誘導することが可能だが・・・とにかく、最大限努力する。ただ、な・・・覚醒剤に加え、拳銃が一丁見つかった。・・・そうだ、マカロフだ。それも実包も一緒にだ。どうしてだ? 何故、拳銃を隠し持っていた? 岩城、言い訳はやめろ。見苦しいぞ。覚醒剤なら、入手先をそれ以上探られることはない。「自ら楽しむために売人から買った」・・・警察の体面を保つためなら、そう言って、最悪、自分一人で泥をかぶることだって出来る。でも、拳銃は・・・その入手ルートを探るしかない。これだけは、私でもどうにもならない。これから拳銃の入手ルートに関して、取り調べが開始される。うちの捜査員の石岡だ。ヤツは、帯広から移ってきて間もないので、俺たちの秘密についてはなにも知らない。それに見ての通りの堅物だ。取り調べはタフなものになるかも知れない。でも、耐えるんだ。・・・なあ、岩城。お前は、今でこそ部署は代わってしまっただが、かつては私の優秀な部下だった。そして、同じ秘密を共有している。だから、助けたい。本当にお前を助けたい。私もお前を救う方法を必死で考える。上と一緒にな・・・ だからお前も頑張るんだ。いいな。・・・(頷いて、薄く笑顔

を浮かべ) そうだ、それでいい。 . . . ところで、娘さんは、そう、圭子 (けいこ) ちゃんは、どこに . . . なんだって、家出? どうして? だからか、お前の家の中 . . . なあ、捜索願いは? 2 ヶ月もだぞ? (ため息をつき) 何をやってるんだ。本当に、お前は . . . 心配するな。私の方から、生活安全課に問い合わせしておく . . .

と、柏への照明がゆっくりと暗くなっていく。
代わりに、剣崎と藤代に明かり。

藤代 . . . 90 年代後半の、拳銃摘発奨励金。それが岩城の人生を狂わせた . . .
剣崎 「拳銃バブル」 そう揶揄されたよな。よってたかって摘発奨励金と点数稼ぎに躍起になってた時代。摘発奨励金獲得のために、捜査用報奨費が湯水のように使われ、それが裏金作りや不正流用の温床となっていった . . .
藤代 更に悪かったのは、マル B との関係が強固なものになったことです。場所にもよりますが . . .
剣崎 で、最悪なのうちのひとつが、この札幌ってわけか . . . それが監察官の逆鱗に触れた。
藤代 警察内部での裏金作り。ここ道警でもかなり問題になりました。確かに違法ですし、裁かれなければならないことです。しかし、それよりも先に芽を潰しておかなければならないのが、汚職です。犯罪を取り締まるべき、我々警察官が、その職権を乱用し、特定の団体に利益供与し、そして、見返りを乞う。こうなったら、社会秩序は無くなったも同然です。現在、更に強く結びつこうとしている道警と木暮組。そのワイヤみたいに太い繋がりを完璧に断ち切りたい。
剣崎 藤代。で、戦略は? この後、どうする気だ?
藤代 真壁を足がかりに、キー・パーソンである塚原に近づく。
剣崎 近づいたところでどうなる。ヤツはきっと賢いやつだ。どう考えても、そう簡単に馬脚を現すとは思えないが . . .
藤代 友部の自首と岩城の逮捕。今まさに、ヤツらは動いている。自らの地盤を盤石なものにするために . . .
剣崎 でも、付け入る隙は . . .
藤代 きっとあります。攻撃は最大の防御なんて言いますが、攻撃を仕掛けているときこそ、一番防御が甘くなる。
剣崎 動いているこの時こそカウンターパンチをお見舞いする絶好のタイミングというわけか?
藤代 そうです。
剣崎 まずは、今夜の塚原との会合だな。へたしたらこちらの正体がばれている可能性だってある。まあ、腹の探り合いとなることは必死だな . . .

ゆっくり頷く藤代。舞台が暗転する。

10. ベンティだあ??／新しい服／もう落っこちてるよ

舞台の上に現れる高浜、そして真壁

高浜 昨日の夜、兄貴がなかなか帰ってこないもんだから、朝まで吞んでましたよ。藤代さんと。っていうか、やっぱ、横浜の人は違うね。

真壁 謙二は内地行ったことあるのか？

高浜 兄貴がお務めしてた間に、何度か・・・

真壁 いいなあ、お前。

高浜 って、兄貴は？

真壁 内地か？ 一度だけだ。修学旅行でな。

高浜 修学旅行で内地って、兄貴。いつの時代の人？ 今時、修学旅行は海外が主流だぜ。

真壁 じゃあ、お前も海外行ったのか？

高浜 ああ、シベリアに・・・

真壁 修学旅行にシベリア？

高浜 うん。船で・・・

真壁 なんで、シベリア？ っていうか、それ、旅行じゃなくて抑留って言うんだよ。ってか、修学抑留ってなんだ？ ていうか、逆に学ぶことありすぎだろ？

高浜 それ、俺に聞かれても・・・

と、舞台後方に現れるブリック。二人の背後から割ってはいる。

ブリック 楽しそうだね。

真/高 わっ！

ブリック って、そんなに驚くことはないだろ。

真/高 驚くって・・・

高浜 昼日中（ひるひなか）に、ぱったり会々と、やっぱ、迫力あんなあ・・・

ブリック そうか？・・・って、褒めてんのか、それ？

真壁 言葉は悪いが、褒めちぎってるんだよ。なあ、謙二？

高浜 はあ？

真壁 こら、「はあ？」って顔すんな。「はいはい。」って調子合わせてりゃ・・・

ブリック （ちょっとむっとして）やっぱ、けなして・・・

真壁 （取り繕うように）謙二。お前一足先に、事務所戻ってる。で、今夜客人連れて行くって伝えといてくれ。今夜は大丈夫だって行ってたよな？ 塚原は・・・

高浜 はい。・・・って、兄貴。呼び捨て、まずいですよ。「塚原さん」って・・・

真壁 慣れてねえんだよ。まだな・・・分かったよ、気をつける。じゃあ、後でな・・・

と、高浜が真壁に礼をし、退場する。

ブリク 大変だね、涼も・・・
真壁 お前ほどじゃねえよ。
ブリク また、強がって・・・ ねえ、たまに外であったんだから、茶でもしていかない？
真壁 ナンパか、それ？
ブリク そんなところ・・・じゃあ、あそこでコーヒーでもどう？（と、顎をしゃくる）
真壁 （しゃくった先を見て、愕然とする）スタバだよ、あれ。
ブリク うん。カプチーノとか美味いぞ。
真壁 でなく、浮かない、俺たち？ この格好で・・・
ブリク 気にすんな・・・

と、ごいごいスターボックスに向かっちゃうブリク。
「おいおい・・・」とそれを追う真壁。舞台は急速に暗転。
と、暗闇から真壁の声「だからな。大、中、小でいいじゃねえか。」
ゆっくり明かりがついてくると、舞台正面に向かい凄んでいる真壁。
ブリクは舞台後方の椅子にすでに腰を下ろしてる。

真壁 何が悲しくて、ショート、トール、グランデなんだよ・・・っていうか、この「V」
ってなによ？・・・聞こえねえなあ。なんだって？ べ、ベントィだあ？？ っ
て、お前、どこぞの国の人じゃあ？ っていうか、どこの方言なんだよ。（と、強面
の顔が不意に緩む）・・・あああ、ごめん、ごめん。泣いてる？ 泣いちゃった？ あ
ああ、いいから、店長呼びに行かなくて・・・ っ、まいったな（と、後方のブ
リクの脇にどかりと座り）ったく、コーヒー一杯でこの騒ぎだよ。
ブリク へーん。スタバのねーちゃん、泣かせてやんの。
真壁 勝手に泣いたんだよ、むこうが・・・
ブリク なんだかんだ言いながらも、ちゃっかりグランデ頼んじゃってるじゃない・・・
真壁 ベントィだよ。カフェミストのベントィ。
ブリク ベントィ、言えてるじゃん、お前。
真壁 （カップに口をつけて飲んでるが・・・）あちっ。下から熱いの、急に来た。
ブリク おもしろいやクザだな、お前。
真壁 るっせー。っていうか、このフタ、どうにかならんのか・・・
ブリク なあ、涼。明日は来てくれるんだろ？
真壁 はあ？
ブリク だから、明日のセミファイナル・・・
真壁 どうせまた、予選落ちだろ。セミファイナルまでは行けるんだが、そこ止まり。い
いよ、俺は。惨めなお前の姿は見たくない・・・
ブリク 今年はいつもと違うよ。何たってヴォーカルがもう一人は言ったからね。
真壁 そうか、マリアか・・・
ブリク 曲の出来も、演奏の仕上がりもいい。だから・・・
真壁 あのなあ、ブリク。俺みたいなヤクザもんが、どの面下げて・・・
ブリク だから、買っておいた。（と、ALTAの紙袋から、なにやら得体の知れない黒いものを

引きずり出す) これ、着てきて・・・

真壁 (受け取り、広げる) ブリンク・・・ 着れるか、アホ。俺はヤクザ・・・
ブリク ねえ、涼。あんたは私と同じ。私はただゴスロリの格好をしているだけ。あんたも
ただヤクザの格好をしているだけの・・・
真壁 ブリンク。止めねえか？ そんな話・・・
ブリク 止めない。明日のセミファイナルを勝ち抜いて、決勝大会のステージで歌えたら・・・
もしその夢が叶ったら、私・・・ ゴスやめるよ。
真壁 やめるって、バンドはどうするんだよ。
ブリク マリアがいるだろ。
真壁 店は？
ブリク オーナーだもん。続けるよ。涼と一緒にね。
真壁 (鼻で笑って) なに言ってるんだよ・・・
ブリク もし、あたしが明日、勝つことが出来たら、涼もヤクザをやめて堅気になる。
真壁 あのなあ、俺みたいな前科もん・・・
ブリク 知ってるだろ？ 「In This Moment」に過去はない。今があるだけ・・・
真壁 ブリンク・・・
ブリク ねえ、ブリンクって名前の本当の意味知ってる？ 英語でね、「崖っぷち」。
真壁 へえ、そうなのか。で、ずっと崖っぷちの間に立ち続けてるってわけだ。
ブリク いや。もう落っこちてるよ。片手で、こんな風に、必死になってしがみついているの。
そして、誰かが、私の手を掴んで、引きずりあげてくれるのを待ってる・・・ (ぼ
つりと、呟くように) 辛いよ。崖っぷちにしがみついたまま、8年も待ち続けるっ
て・・・

何かを思い出すかのように、遠くを見つめるブリンク。また、カフェミストで唇を
火傷する、真壁。「熱ぢっ。っていうか、このフタ、どうにかならんのか・・・」
「お前、人の話聞いとんのか？」と、真顔で真壁をたしなめるブリンク。
そんな取り交わしの中、舞台がゆっくりと暗くなっていく。

11. 密談／蛇の道は蛇／岩城の向こうにいる誰か

明転。椅子にどっかりと腰掛けている塚原。そこに現れる高浜。

高浜 塚原さん。すいません。お忙しいところ、時間作っていただいて・・・
塚原 (立ち上がり) 高浜。横浜からのお客人を相手にしないわけにはいかないだろ。たとえどんなに忙しくてもな・・・ (部屋の外に声をかける) 通してくれ。

舞台上に現れる、真壁、剣崎、そして藤代。

塚原 ようこそ、札幌へ。昨夜は真壁に接待を頼んだんですが、楽しんでいただけましたか？

剣崎 ああ、十分にね。

塚原 それは良かった。そちらのロシアクラブ、「エカテリーナ＝ロマノフ」でしたっけ、にも最高のタレント送り込めるように手筈をつけています。なにせ、横浜一の高級ロシアクラブの新装開店だ。恥をかかせるわけにはいかない。

剣崎 頼もしいね。

塚原 こうやって杉田一家とも良い関係が築けたわけだ。まあ、今後ともよろしく頼みますわ。

剣崎 こちらこそ。

塚原 ところで剣崎さん。真壁とは高校時代の同級生とか？

剣崎 まあね。正しくは同窓生ってやつだったが・・・

塚原 真壁ね。こいつ8年間も長六四喰らってて、去年娑婆に出てきたばかりなんだ。まあ、それで今は「リハビリ」させてんのよ。(真壁に) なあ？

真壁 (面白くない風だが、一応答える) はい。

塚原 まあ、こうやってゆっくりうちのシノギ思い出してもらえばいいと思ってるんだが・・・

剣崎 まあ、塚原さん。折り入って相談があるんだが・・・

塚原 相談？

剣崎 藤代、お前、ちょっと隣の若いのに札幌の楽しみ方でも聞いておけ。

塚原 二人きりで相談したいと？ 分かりました。高浜、真壁、悪いがちょっと席を外して・・・

真壁 龍ちゃん・・・

塚原 まあ、頼む・・・

真壁、高浜や藤代と共に、渋々退場。

塚原 ははは、「龍ちゃん」か・・・

剣崎

塚原 失礼した。笑うところじゃねえな。で、剣崎さん。人払いまでして、何話そうと？
剣崎 噂では聞いていると思うが・・・ 昨年の春、大黒埠頭でシャブのでかい密輸ルートが摘発された。北朝鮮からのコンテナの二重底に隠して運んでたヤツだ（「Envy」参照）。1.2 トンの覚醒剤の摘発。末端価格にして、600 億円。まさに前代未聞だ。青葉会が仕切っていたシノギなんだが、実はこれ関東へのシャブの供給元のかなりの部分を占めていたってことが問題なんだ。これを受けて、関東へのシャブの供給が滞った。それだけじゃなく、売りしぶりて関西からの流入も細り、シャブの価格は高騰・・・

塚原 で、別の密輸経路を持つ武藤組に、シャブ売やってる連中は泣きついたり、寝返ったり、大変なんだってな、関東は・・・

剣崎 よく知ってるな。

塚原 実話時代で読んだ・・・

剣崎 こんなリアルネタ、実話時代に載るわけねえだろ。

塚原 で、なんなんだ。唐突にシャブの話なんか？ うちにはシャブ売なんかしてねえぞ。

剣崎 なあ、塚原さん。とぼけるのよそうや。あんたは北朝鮮産のシャブのぶっといルートを持ってる。ロシア経由での・・・ 違うか？

塚原 それ、ナックルズで読んだのか？ ははは。そんなガセネタ。根も葉もないってやつだぞ、それ。

剣崎 おやおや、関西の方には、北海道経由でかなりの量が供給されてるって聞くが？

塚原 初耳だね。

剣崎 北海道から仕入れたネタを関西の連中は倍の値段をつけて関東に卸してるらしいぜ。まさに・・・

塚原 濡れ手に粟、ってヤツな。あやかりたいねえ、そんな美味しい話・・・

剣崎 この話、問題実話で読んだわけでもなければ、関西ヤクザの伝手で知ったわけでもない。今でこそ、杉田一家の相談役だが、俺は二年前までマップだった。蛇の道は蛇だ。分かるよな・・・

塚原 （黙る）・・・・・・・・

剣崎 そう、道警からの情報だ。なあ、俺が岩城と知り合いなのは知っているんだろ？

塚原 いわき？ 誰だそりゃ？

剣崎 シャブでばくられた生活安全課の警部だ。

塚原 へえ？

剣崎 頭の切れるあんたのことだ。当然、道警と繋がってるんだろ？

塚原 （頭ごなしに否定し）まさか。

剣崎 岩城がばくられても、おたくの組には動揺が見られない。つまり、あんたと繋がっているのは、道警の中でも、もっと上の方・・・

塚原 （笑って）ははは、そりゃ妄想してもんだぜ、剣崎さん。まあ、想像するのは勝手だが・・・

剣崎 こっちだって神奈川県警の生活安全とうまく関係を保ってる。だから、手を結べば、上手く事が運ぶはずだ。絶対にばくられることのないシャブの取引。マップの首根っこ抑えてな・・・ こっちの情報は包み隠さずそちらに流したっていい。だから、

そっちのカラクリを・・・なあ、塚原さん。うちも必死なんだよ。これって、関東で存在感示す絶好のチャンスじゃないのか？

塚原 剣崎さん。何を何処で聞きかじってきたのか知らねえが、うちはシャブの密輸なんかしちやいねえ。扱っているのはロシアのきれいなおねいさんだけだ。それだけだ。

剣崎

塚原 (舞台袖に) おい、高浜。車用意しろ。お客人と飯喰いに行くぞ。(剣崎に) 近くに美味しいカニを食わず店がある。枝幸(えさし)の最高のカニだ。

と、言いながら塚原が退場する。舞台の上には剣崎が一人。サスがそれを浮かび上がらせている。と、他方に藤代。

藤代 剣崎さん。昨夜の塚原との協議ですが・・・

剣崎 カマはかけてみたものの、シャブの密輸も警察との関係もきっぱり否定。

藤代 そうですか。我々の正体がばれている・・・ そんな感じでしたか？

剣崎 さあな。

藤代 やはり、塚原はそう簡単には馬脚を顕さないか・・・

剣崎 そうでもないぞ。シャブに関し、警察との関係を仄めかしたとき、さすがのあいつも押し黙った。誰から情報が漏れたのか、考えている風だった。

藤代 つまり、シャブの密輸と供給に関して、警察と密な関係を持っている・・・と？

剣崎 ヤツの態度から、そう確信した。しかし、問題は、塚原と繋がっている道警側のコンタクト・パーソンが誰か分からないことだ。岩城がばくられても、動揺がない事から考えて、岩城ではない誰かが、少なくとももう一人いる。

藤代 拳銃バブルの時の岩城の上司？ 現銃器薬物対策課課長の柏という男が、当時、岩城の上司でした。だから・・・

剣崎 確証がない。

藤代 しかし・・・

剣崎 断定は禁物だ。更に上の役職のキャリアと繋がっている可能性だってあるし、逆に、当時の岩城の部下だったものが、岩城が生活安全に移った後、その後釜に座ったと考えることも出来るだろ。

藤代 証拠か・・・

剣崎 そうだ。

藤代 この件に関して真壁は？

剣崎 残念ながら、あいつは今、完全に蚊帳の外だ。

藤代 でも、拳銃バブルの時には、真壁は・・・

剣崎 確かに岩城と組を繋いだのは、真壁だ。しかし、岩城の向こうに誰がいるのか、真壁は知ってなどいない。すべてを仕切っていたのは塚原・・・

と、藤代の電話が鳴る。番号を確かめる藤代。

藤代 馬橋さんからです。

剣崎 (顎をしゃくり、通話を促す)

藤代 はい。藤代です。・・・はい。・・・な、何ですって！ それは・・・

剣崎 どうした、藤代？

藤代 (受話器を手のひらで塞ぎ、剣崎に向かい) 友部が・・・ 友部が、留置場で自殺
しました・・・

剣崎 ！？

急速に暗転する舞台。

12. ママの唯一の宝石／もう一つのバックアップ／ゴディバじゃねーよ

舞台上に立っている柏を一本のサスが浮かび上がらせる。

柏 ……岩城。今朝、友部が死んだ。留置場で首を吊った。自殺だ…… 保身のために、自分が発作的にしでかしてしまった事。その事の重大さに気付いたんだ。そして、恐怖した。この告白は誰にも聞き入れてもらえない。警察が守るのは、その組織自体であり、彼自身ではない…… 後悔とも諦観ともつかない精神状態で友部は…… なあ、岩城。分かるよな。棺桶まで持っていかなければならない秘密というものがある。塚原と我々の関係。……だから、拳銃の件は昔の話だ。それではなく、今の関係。覚醒剤に関するものだ。それは絶対に表には出せない。こちらとしても迅速な隠蔽工作が必要だった。君の家の家宅捜索を行い、危険な情報が入っている君自身のPCを回収することが出来た。……そうだ。バックアップ用のハードディスクも。木暮組からの利益供与に関しての情報はすべてこちらで押さえることが出来た。でもな、岩城。あんな重要な情報なんだから、きちんとしたセキュリティを…… そう。あれじゃ、ちょっとしたコンピュータ・オタクならすぐにもブレイクしてしまうぞ。そして、覚醒剤の密輸と流通に関係している幹部名、その繋がり、そして金の流れ、そのすべてが…… なんだって？ 今、なんて…… もう一つのバックアップ？ ……マイクロドライブ？ その中にあるのか？ …… 分かった。もう一度押収物を確認しよう。

舞台他方にマリアが現れる。手に小さな小箱を持っている。

マリア ……小さな小箱。これがママの唯一の思い出。ママのスーツケースのポケットの中に忍ばせてあった。(ふたを開けると中に指輪が入っているのが分かる。それを手に取り) 婚約指輪。ノーブランドのプラチナ。小さな、とても小さな石が付いている。立てヅメなんてものじゃなく、ただの埋め込み。でも、ママは大切にしていた。「ママの持っている唯一の宝石だ」って言って……(指輪をつけて眺める。と、何か嫌なことを思い出す) でも、これはあいつがママに送ったものだ。ぱくられたって聞いたけど、ほんとかな？ でも、そんなことどうでもいい、だって、あいつはママの最後に立ち会わなかった……(と、指輪を引き抜き、ポケットに入れる)……ママが亡くなったのは、私がまだ9歳の頃だった。熱がなかなか下がらなくて病院に行った。検査の結果、緊急入院することになった。「すぐに退院できるよ」とママは笑って…… その時はママが死んじゃうなんて、これっぽちも思わなかった。吐き気で何も食べられないのに、治療の影響で髪の毛が抜けちゃっても、私に対してはいつも笑顔で……

と、何かに気付くマリア。指輪のケースを振ると、カタカタと音がする。中に何か入っているのだ。恐る恐る中綿を抜き取ると、そこに3平方cmほどの四角いプラス

チック片が入っていた。取り出して眺める。
と、登場するブリック。

ブリック どうしたんだい、マリア？（と、手に持っているものに気付き）なんだい、それ？
なんだい、ゴディバのチョコレート（きつと、薄い板状の「カレ Carres」のことを
いっているのだと思う）だね。誰から・・・
清姫 （登場して）似てるけど違うね。チョコじゃなくて、メモリーだよ。
マリア めもりー？
ジュリア （登場し、マリアの手からプラスチック片を受け取り）コンパクトフラッシュって
やつさ。デジカメとかに使うヤツ・・・
ブリック って、よく知ってるね・・・
ジュリア （凝視して）これ、普通のコンパクトフラッシュじゃないね。マイクロドライブだ。
ブリック マイクロ？
清姫 中にハードディスクはいつてるやつか？
ブリック は一ど・・・？
ジュリア ほんとにブリックはダメだな、こういう系。
ブリック （マリアに向かい）私たちは機械音痴だから。歌は上手いけどねー・・・
清姫 って、一緒にマリアを巻き込むなって言うの！
ジュリア マリア、それ貸しな。多分、写真じゃないかって思うから、上のパソコンでちょっ
と見てみよう。
マリア う、うん。
イザベル （登場して）あー、いいな、ジュリア。ゴディバのチョコ。
ブ/ジ/清 だから、ゴディバじゃねーよ。
イザベル って、何で、そこまで、きつく突っ込む？

小首をかしげるイザベル。
停電したかのように、唐突に暗転。
電話の呼び出し音。暗闇から柏の声。携帯を手に電話している柏に明かりが入る。

柏 塚原か？ まずいことになった。岩城のPCに入っていた覚醒剤の流通に関するデー
タのバックアップ・コピーが紛失した。

他方に現れる塚原。

塚原 バックアップ・コピーが紛失？ どういう事だ？
柏 岩城は自分が管理しているデータのバックアップをマイクロドライブに取っていた。
関係していたうちの幹部の名前と金の流れがすべてその中に入っている。それが無
くなったんだ。多分、岩城の娘である圭子が持ち去った・・・
塚原 岩城の娘？
柏 そうだ。お袋のスーツケースと共にそれを持って消えた。家出したんだ。

塚原 いつから？
柏 家出したのは3月の中旬。15か16日だ。
塚原 なあ、意図的か、それとも偶発的に・・・
柏 多分、偶然だ。マイクロドライブはスーツケースの中に入っていた。それとは知らずに、持ち出した。
塚原 裏はないな？
柏 ない。そう考えた方が自然だ。
塚原 分かった。でも、家出娘の搜索は、そちらのお得意じゃねえのか？
柏 一人の家出娘の搜索に、それもこんな理由で組織を動かせるか？ 言い訳が立たない。
塚原 やり方あるだろう？ いろいろと・・・
柏 頼む、塚原。この状況下で組織を動かすのはきつい。だから、頼む・・・
塚原 しょうがねえな。分かったよ。その娘について詳しい話を聞かせてくれ・・・

台詞の言い切りと共に舞台が暗転していく。

13. 今夜は前祝い／きな臭い情報／普段着じゃダメ？

舞台上にマリア。一本のサスがそれを捕らえている。

マリア ……セミファイナルは明日。北一条の教育文化会館で行われる。送られてきた演奏順番表では、In This Moment は大トリとなっていた。「別に評価されての順番じゃない、抽選の結果だ」って、ブリンクは言っていた。「でも、カッコイイじゃん、大トリ」って清姫は盛り上がり、逆に「緊張するから早い順番の方が良かったのに」ってイザベルが泣き言って……でも、泣いても笑っても、今日が最後の練習だ。セッティングを含め、持ち時間の8分を越えることが出来ない。だからタイムを取りながらのリハを何度も行う。曲数はたったの2曲。Prayers で度肝を抜いて、Beautiful Tragedy で余韻を残して終わる。間のMCも完璧だ。ブリンクは何をやらせてもカッコイイ。絶対、決勝に行けるって、そんな気がしてきた……

と、In This Moment 全員が手にグラスを持って、舞台上に立っている。マリアを除く全員がグラスを高く上げ「かんぱーい」と叫ぶ。

ブリンク 練習ご苦労様。今夜は前祝いって事で、軽くね。分かってるよね、ジュリア？
ジュリア 人をアル中みたいに言うなよ！
イザベル っていうか、アル中みたいなもんじゃん。
ジュリア アル中じゃないよ。お酒に飲まれやすいタイプってヤツだ。
清姫 それもまたダメだろっ！
ブリンク まあまあ。っていうか、本当に今夜は飲み過ぎちゃダメだからね、ジュリア。
ジュリア 分かってるって、もう！
ブリンク なあ、マリア。喉の調子は？
マリア 悪くないよ。
ブリンク 今夜は絶対、喉冷やしちゃダメだぞ。
マリア うん。分かってる。
ジュリア なあ、マリア。
マリア なに？
ジュリア ちょっと、こっちへ。
マリア なに？
ブリンク どうしたんだい？
ジュリア ちょっと打ち合わせ……

マリア、ジュリアに誘われるがまま、みんなと離れて舞台前に移動する。照明が二人を捕らえる。

ジュリア なあマリア。(ポケットからマイクロドライブを取り出し) これ、何処で見つけた？

マリア ママの婚約指輪のケース。
ジュリア 婚約指輪？ お前、ぱくって来たのか？
マリア 違う。遺品だよ。ママ、死んじゃったんだ私が九つの時に・・・
ジュリア ごめん、マリア。遺品だなんて知らなかった・・・
マリア いいよ。
ジュリア でも、これママのものじゃないよな。だって、このメモリー自体、その頃には存在してなかった。
マリア どうしたの？
ジュリア これ、写真とかじゃなかった。写真なら普通、jpeg とか tiff とかのファイル形式で保存される。でも、これは違った。それに暗号化されてた。
マリア 暗号化？
ジュリア うん。いくつかのファイルは解読できたけどね・・・ メールを取り交わしや、それから・・・ ねえ、岩城圭昭って知ってる？
マリア
ジュリア この前、ぱくられたデカだよ。知っているの？
マリア (首を横に振る)
ジュリア じゃあ、塚原って名前は？
マリア (首を横に振る)
ジュリア (首をかしげて) どうして、こんなものが・・・ ねえ、マリア。このマイクロドライブ、かなりきな臭い雰囲気なんだ。
マリア 危険な情報なの？
ジュリア 多分ね。もう少し借りていい？ セミファイナルが終わったら、もう少し解読してみよう・・・
マリア で、どうするの？
ジュリア 誰かに相談するか・・・ さもなきや、捨てる。
マリア ジュリア？
ジュリア 大丈夫。私ならね・・・
ブリック こら、そこの二人、何こそこそ、悪巧みしてるんだよ。
清姫 当日、どうやってブリックのワイヤレスの電源を落とそうかって事だろ？
ジュリア げっ、ばれたか・・・
イザベル マジでそんなこと考えてたの？ 信じらんない。っていうか、そんなことしたら、きっとブリックにご自慢のギター壊されちゃうよ！
ブリック しないよ、そんなこと。でも、当日虐められたら、舞台の上で膝小僧抱えてめそめそ泣いちゃうから・・・
清姫 って、それはねえな。
ブリック (笑って) そりゃねえな。っていうか、もう一回みんな乾杯しようよ！

みんな集まって、乾杯する。

と、ブリックの携帯が鳴る。「おっ、涼からだ。」と呟き、電話に出るブリック。舞台袖に現れる真壁。

ブリク 涼、どうした？
真壁 なあ、明日のことなんだけど・・・
ブリク (悲しそうに) やっぱりダメになっちゃった？
真壁 いや、そうじゃなくて・・・なあ、やっぱり、あれ、例のヤツ着て行かなきゃダメか？ っていうか、普段着でじゃ、まずい？
ブリク 涼、お前の普段着って、いつものあれのことか？
真壁 ああ。
ブリク あれじゃ、絶対浮くって。マジで浮くって・・・
真壁 でも、恥ずかしくてよ。
ブリク 恥ずかしいだと？ なに、年頃の中坊みたいなこと言ってるんだよ。ヤクザなんだから、度胸見せろ。明日4時からだからね。遅刻したら、マジ殺すよ・・・
真壁 っ、怖いなあ、お前・・・
ブリク じゃ、明日。ぶちっ。(と、電話を切る)

首を横に振りながら、真壁が退場。

ジュリア 真壁さん来るって？
ブリク ああ、来るって。
ジュリア 絶対だよな？ ブッチなしたよね？
ブリク ああ、約束したんだから。
ジュリア よーし、やる気出てきたぞお！
清姫 っ、お前本当に真壁さん好きだな。なんで？
ジュリア なんでだろ？ っていうか「札幌の中で唯一、私が素直になれる人だから」かなっ？
伊ノ貝 「かなっ？」ってなんだよ。なんかキモいよ。
ジュリア キモかねえだろ、ちっとも！
ブリク いいだろ、もうそんなの。とにかく、明日のセミファイナル通過を願って、最後に、もう一度乾杯だ！

と、みんなが乾杯する中、舞台が暗転していく。

14. 揺さぶり／重要な物証／災難続きのスーツ

舞台の上に剣崎と藤代。

藤代 友部の自殺を受けての馬橋さんの考えは「とにかく展開が早すぎる。早く手を打たないと、すべての真実がまた闇の中へ消えてしまう・・・」と・・・

剣崎 つまり、友部は消された。それも道警によって・・・

藤代 そうです。本庁の監察官室に集められるだけの情報を集めてもらいましたが、やはり、どう考えても不自然すぎるというのが、結論のようです。それに司法解剖も実施される予定はないとのこと・・・

剣崎 謀殺の匂いがプンプンだな。で、馬橋監察官からの指示は？

藤代 このタイミングで道警に揺さぶりをかけろ。

剣崎 道警に揺さぶりをかける？

藤代 そう。どうせ我々の正体は、塚原にはうすうす感づかれています。ならば、正体を晒して、内偵が進行中であることを道警に知らしめるしかありません。揺さぶれば、何かが転がり出て来るかも知れません。こっち同様、向こうだってかなり焦っているんですから・・・

剣崎 しかし、俺たちの目的を道警に完全に見せるわけには・・・

藤代 そのあたりは、上手くぼかします。任せてください。では、明日の朝一番に・・・

一瞬転換明かりとなる間に舞台後方に現れる柏。後ろを向いて腕組みしている。

藤代 岩間署長にお伺いしたところ、柏局長とお会いするようにとのことでしたので・・・

柏 (振り返り) 君たちが警察庁から来た・・・

藤代 いえ。正確には警視庁です。

剣崎 とは言え、察庁監察官からの命を受けてだけだね。

柏 監察官・・・ 馬橋さんですか？

藤代 そうです。

柏 そうか・・・ いや、馬橋さんには大変お世話になってね・・・

剣崎 北海道新聞にキャンペーン張られた捜査費不正流用騒ぎの時か？

柏 ええ。あの時はほんとに大変でしたよ。でも、確かに、こちらとしては、かなりの痛手となりましたが、警察全体の威信を失墜させることはなかったと自負・・・

剣崎 つまり、警察組織全体を守るために、道警だけの問題として処理した・・・いや、させられた？

藤代 トカゲのしっぽ切りに利用された、と？

柏 滅相もない。「全焼する前に、小火(ぼや)で消し止められて、よかった」という事です。さすが、監察官。鮮やかなお手並みで、こちらとしてもかなり勉強させていただきました。

藤代 分かりました。柏局長の感謝の意。帰りましたら、監察官にお伝えいたします。申

し遅れましたが、(と、名刺を取り出し) 警視庁警務部人事第一課監察官室の藤代です。

名刺を受け取る柏。自分も名刺を取り出そうとして、持っていないことに気づき、微妙にもじもじしちゃう、剣崎。

柏 そちらは？

藤代 上司の剣崎です。

剣崎 上司？

柏 で、本社の監察官室が、何故、北海道くんだりまで？

藤代 単刀直入に申し上げます。内偵捜査です。

柏 (怪訝そうな顔で) 内偵？

藤代 稲森会系暴力団が経営している横浜のロシアクラブがあるのですが、度重なる神奈川県警のガサ入れを何故か回避しているんです。県警による監察の結果、警察内部に内通者が存在している疑いが持ち上がりました。それも、神奈川県警ではなく警視庁にいる刑事である可能性がね。

柏 で、こちらとの関係は？

藤代 ロシアクラブへのロシア人ホステスの供給元は札幌の木暮組。それで、木暮組への内偵を密かに開始することになった・・・

剣崎 確かにそちらに仁義を切らなかったことは、お詫びするしかないが・・・

柏 で、協力を頼みたいと・・・ まあ、馬橋監察官が後ろにいることですね。こちらの監察官室としても、協力は惜しみませんよ。ただ・・・ 今、こちらも大変なところでね。

藤代 岩城の逮捕ですか？

柏 まあ、覚醒剤だけでなく、彼の自宅から拳銃まで発見されて・・・

剣崎 拳銃？

柏 ええ。それが発端になって、自らの痛くない腹まで探らなきゃならなくなった。

剣崎 痛くない腹？

柏 蒸し返さなければならなくなったんだ。10年以上前の拳銃摘発に関してね。岩城が・・・(言い淀んで) 岩城がそれを偽装していた可能性がある・・・

剣崎 当時、あなたは岩城の上司だった・・・

柏 そうだ。だから、追求される事になるだろう。監督不行届と・・・

剣崎 監督不行届？ おまえ・・・

藤代 (剣崎が柏に食ってかかろうとするのを抑えて) 柏さん。岩城は覚醒剤を所持し出頭した友部に刺されたんですよね。そして、岩城は確か覚醒剤使用の容疑で逮捕された。覚醒剤の入手ルートは洗っているんですか？

柏 当然だ。しかし、今は拳銃の入手ルートが重要なんだ。岩城は12年前に・・・

藤代 そんな昔の事件より、覚醒剤でしょ？

柏 何故だね。拳銃摘発偽造が本当だとしたら、完璧な汚職だぞ。警察官のね。それに覚醒剤は、岩城が持っていた覚醒剤は、末端の売人から入手したとのことだ。個人

的に使用するためにね・・・

藤代 つまり、覚醒剤に関する捜査は・・・

剣崎 (藤代を制して) 藤代。そろそろ、おいとましよう。

藤代 (納得したとは言えない表情で)・・・はい。

剣崎 柏さん。こちらの内偵へのご協力をよろしくお願いいたしますよ。では・・・

と、藤代を連れ、退場しようとする。それを柏が制す。

柏 そう、そう。大切な情報をお伝えするのを忘れていた。岩城が拳銃摘発偽造を行っていた相手だが、あなた方が内偵対象としている木暮組である可能性が高い。内通者である警視庁の刑事と木暮組との関係も、岩城の過去の事件を探ることによって見えてくるかもしれない。実はね・・・こちらとしても岩城と木暮組の関係を示すのに、物証が明らかに足りなくて困っているんだ。

剣崎 古い事件だからな。立証は困難だろう・・・

柏 それをどうにか出来る物証があるんだが、目下行方不明なんだ。

剣崎 その物証って？

柏 岩城が拳銃摘発偽造について詳細に記した覚え書きの電子データ。それが小さなマイクロドライブの中に保存されているらしい。

藤代 マイクロドライブ？

柏 それが行方知れずとなっている・・・

剣崎 どういう事だ？

柏 岩城には一人娘がいるんだ。圭子という名前だ。それが、そのマイクロドライブを持ったまま行方不明となっている。二ヶ月前に家出したままだ・・・

剣崎 一人娘が？

柏 意図してか、偶然なのか、それが娘の手にある。もしこの事実が、木暮組に漏れていたら・・・

藤代 彼女が危険・・・いや、すでにヤツらの手に落ちている？

柏 行方不明となっている岩城圭子の資料は、岩城の取り調べにあたっている石岡のチームが持っている。この後、当然、石岡とも話をするのだろうか？ その時に、その資料をそちらに手渡すよう連絡を入れておく・・・

剣崎 もし、俺たちが彼女を、そのマイクロドライブを発見したら？

柏 すぐに私に知らせて欲しい。岩城の汚職を立証する重要な物証だからね。

剣崎 分かった。行くぞ、藤代・・・

と、剣崎と藤代が退場する。携帯を取りだし耳に当てる柏。他方に現れる塚原。

柏 ...塚原か？

塚原 どうした？

柏 本社の内偵がお前のことを探っている。お前、神奈川県警と何か繋がりでもあるのか？

塚原 柏さん。そいつら、こう名乗っていなかったか？ 剣崎と藤代・・・
柏 どうしてそれを？
塚原 へえ、偽名は使ってないってことか。そりゃ、俺って言うより、俺と道警の関係を
探りに来た連中だよ。つまり、あんたがターゲットだ。
柏
塚原 それに気付かないほどのぼんくらじゃないだろ、あんたも・・・
柏 友部は死んだ。岩城は完全に黙秘する。後は、あの・・・
塚原 マイクロドライブか？
柏 それさえ始末できれば・・・
塚原 まさかヤツらにそのことがばれちゃいねえだろうな？
柏 ヤツらはすでにそれを知っている・・・
塚原 あんたが喋ったのか？
柏 道警の組織を動かすことが出来ないんだ。紐付きでない遊撃隊として、その捜索に
ヤツらを利用しようとした・・・
塚原 柏さん。ちょっとそれ・・・ ボーンヘッドってヤツじゃねえか？
柏 大丈夫だ。煙幕は張ってある。ヤツらはその中身については感づいていない。
塚原 どうだか・・・ まあ、こっちが先に手に入れればいいだけのことだ。こっちも本
腰入れるしかねえな。・・・なあ、柏さん。こいつは高く付くぜ・・・

電話を切って、退場する塚原。しばし、呆然としていた柏も、携帯を閉じて退場する。と、現れる剣崎と藤代。剣崎はペットボトルのミネラルウォーター（「歌才の森」北海道限定：サッポロ飲料）を飲んでいる。

藤代あの柏って男、黒ですね。確実に絡んでいるはずだ。でも、監察官室を動かすためには、確実な物証が必要だ。岩城の娘が持っているマイクロドライブが、何かの証拠となりますかね？
剣崎 岩城の覚え書きのバックアップだとしたら、ひよっとすると、シャブの流通のことが・・・それに、柏、喉から手が出そうなほど欲しがっているように見えた。
藤代 しかし、土地勘のない我々が家出娘を見つけることなんて、ほぼ不可能か・・・
剣崎 でもよ、お前、ほんと心臓強いなあ。俺なんか喉からからになったぜ。
藤代 警察に慣れているだけです。剣崎さんと違って・・・
剣崎 （と、飲んでいた水を吹き出し）ぶあか！俺だってまだサツ官だぞ！
藤代 （スーツに吹いた水がかかる）って、汚いなあ、もう。吐きかけることないじゃないですか？なんか、札幌来てから、この一張羅のスーツ、災難続きだな。一昨日は酒を溢されちゃうし・・・（と、何かに気付く）そうだ。あの時・・・失踪した岩城圭子は18歳・・・（もらった資料写真を確認して）まさか・・・いや・・・剣崎さん。この写真、マリアって娘に似てませんか？

写真を凝視する二人に、闇が落ちる。

15. 気が向いたら一人で／磨いたところで／これがあんたの欲しかったもの

舞台前方両袖に携帯を耳に当てた塚原と高浜。高浜は手に写真を持っている。

塚原 ……高浜。そりゃ、本当か？
高浜 ぱくられたマッポの名前聞いてマジで動揺してました。テーブルの酒を全部溢しちまったぐらいですから……
塚原 で、その写真の娘とは……
高浜 似ているといえば、似ています。雰囲気は全く違いますけど……
塚原 雰囲気が全く違う？ どういう事だ、そりゃ？
高浜 すいません、舌っ足らずで…… この写真、生真面目な女子高生って感じじゃないっすか。でも、そのホステスって言うのは、ゴスっゴスのゴスロリなんですよ。
塚原 ゴスロリ？ あのけったいな格好した連中か？
高浜 はい。そのけったいなヤツです。だから、最初は全く気付かなかったんですが……
塚原 ゴスロリかぁ……(鼻で笑い) で、そいつは？
高浜 ススキノの「In This Moment」って店のマリアって娘です。住み込みの上に、出不精なんで、大体は店にいると思います。でも、今日はライブがあるみたいなんで店の方にはいないかも……
塚原 マリアか…… 暇みつけて、ちょっと出張してみるかな。
高浜 塚原さん自ら？ 何でしたら、後日、お連れしましょうか？
塚原 いや、店の場所を詳しく教えてくれ。気が向いたら一人で遊びに行く……

退場する二人。

舞台奥にジュリア。ギターを磨いている。

そこに現れるブリンクとイザベル、そしてマリア。

ブリンク じゃあ、うちらは一足先に会場に行ってるよ。清姫の車で追っかけてきてくれ。
ジュリア ああ。清姫は？
ブリンク すぐ来ると思うぞ。
イザベル そんな一生懸命ギター磨いたって、音は良くなるよ。
ジュリア 知ってるよ。憎まれ口きいてねえで、早く行け！
マリア じゃあ、ジュリア。会場で……
ジュリア うん。

と、三人退場。ギターケースにギターをしまおうとしているジュリア。

と、ドアが開く音がする。現れる塚原。

ジュリア 遅いよ、清姫。早くギター、車に積んで会場に向かう……(と、ドアを開けたのが、清姫ではないことに気付く) あああ、清姫じゃなかったんだ。ははは。ごめんごめ

ん。今日は重要なライブがあるんで店は休みだ。また、明日来てくれよ。悪いね・・・

塚原 別に昼日中から飲みに来たわけじゃない。

ジュリア (怪訝そうに) じゃあ、なんだよ？ 新聞の勧誘か？ だったら、うちは・・・

塚原 マリアって娘はいるか？

ジュリア マリア？ 聞いたこともないね。さあ、用は済んだろ。帰ってくれ。

塚原 いるんだろ。

ジュリア 知らねえって言っただろ。(ギターケースを肩にかけ) あたしもすぐに行かなきゃならないんだよ。じゃまだから、退いてくれな・・・

塚原 (ジュリアの肩を掴み) いるんだろ。答えてくれないか？ 俺もガキの使いで来て
いるわけじゃないんだ。

ジュリア (気圧されて) 何の用なんだよ、マリアに・・・

塚原 いい娘だ。そうやって最初から素直にしていればいいんだ。実はマリアに搜索願が
出ていてね。それで、こうやって探しているってわけだ。

ジュリア 探してる？ デカか、あんた？ いや、違うね。あんたにはマッポの匂いが無い。
ヤー公だろ？ ヤー公が何でマリアを・・・

塚原 ちょっと聞きたいことがあってな。

ジュリア 分かった。分かった。なんでも教えてやるから・・・ でも、明日な。今日は忙し
いんだ。だから・・・

塚原 残念だが、そんなわけにはいかないなあ。(と、懐から写真を取り出し、ジュリアの
顔と見比べる) 出来れば、今、マリアと話がしたいんだが。マリアは何処にいる？

ジュリア マリアは・・・(と逡巡する)

塚原 (ジュリアに顔を近づけて) 何処だ？

ジュリア (塚原の目をにらみつけ)・・・あたしが、あんたの探しているそのマリアだよ。(ポ
ケットからマイクロドライブを取り出し、示す) で、これがあんたの欲しかったも
んだろ？ さあ、これをやるから、そこを退いてくれないか？ 行かなきゃならな
いんだ・・・

ジュリアの腕を掴んだまま、にやりと笑う塚原。
舞台が闇となる。

16. 教育文化会館エントランス／本当のこと／悪いニュースも二つ

椅子にどっかりと腰を下ろし、精神集中しているブリンク。その傍らにマリア。その周りを、ギターを抱えてうろうろしているイザベル。

イザベル どうしよう・・・ どうしよう・・・
ブリンク 何が「どうしよう」なんだよ、イザベル？
イザベル なんか、ここ一番って時に、間違えちゃいそうなんだもん。
ブリンク 間違えるはず無いだろ？ なあ、マリア？
マリア うん。あんなに練習したんだ。だから、大丈夫だよ。
イザベル でも・・・
ブリンク 平常心で行けばいい。そして、私たちはこのセミファイナルを通過し、夢の・・・
マリア ファイナルステージへ。
ブリンク そうだよ。昨日の夜、夢枕に神様が現れてそう言ったんだ。だから、イザベルが失敗するわけではない・・・
イザベル そうかな？
マリア そうだよ！ ねえ、キクチさん？・・・ほら、キクチさんだって大丈夫だって言ってる。
ブリンク ああ、キクチさん。やっぱり、ストッキング、ちょっと嫌な感じかい？間違えて、サポート感の強いのが買っちゃって・・・
イザベル もう少しの辛抱だから、耐えてね。っていうか、キクチさんマジでいい感じだから、ガンバレ。

と、ベースとギターケースに大きなエフェクターの入ったバッグを抱え、清姫が現れる。

ブリンク 清姫。やっと到着かい？ どうしたんだジュリアのギターまで持たされて・・・
清姫 っていうか、ジュリアは？ こっちにもいないのかい？ 店に姿が見えなかったから、てっきりこっちに・・・(と、荷物を下ろす)
ブリンク 店にいなかったって？
清姫 ああ。携帯に電話したんだけど、出なくて・・・
イザベル まさか、逃げた？
ブリンク なに言ってるんだい。
イザベル あまりの緊張に耐えきれず・・・
ブリンク そんなはずないだろ。ジュリアはあんたほど繊細じゃないよ。
清姫 って、それ、けなしてねえか？
マリア でも、ジュリアが自分のギターをおいて、どこかいなくなるなんて絶対におかしいよ。
清姫 そうだよ。あたしも絶対に変だと思う。ジュリア、一体何処に・・・

当たっている照明が落ちて、舞台前方が明るくなると、登場する真壁と高浜。
真壁・・・ 真壁なの？ だって、格好が・・・

真壁 謙二。
高浜 (誰に呼ばれたのかと、きよろきよろする)
真壁 謙二。ここだ。
高浜 (呼びかける相手を見て) 誰だお前は？
真壁 真壁だよ。あほ。
高浜 (目を擦って) って、兄貴ですか？ マジで？ どうしたんすか、その格好。
真壁 仕方ねえだろ。まあ、いろいろあってな・・・ あのなあ、謙二。まわり見てみろ。
ここは堅気のごスさん達が集まっているところだぞ。お前も顔出すんなら、きちんとTPOわきまえろよ。
高浜 TPOわきまえるより、身の程をわきまえた方が・・・
真壁 なんだと、こら！
高浜 (と、向こうに誰かを見つけたようだ) あっ、ブリンクねーさんだ。
真壁 何言ってるんだ。会場の外に立ってるわけねーだろっ。あいつら、後30分で・・・

と、舞台奥に明かり。

ブリンク ケンちゃん！
高浜 ほら、やっぱりブリンクねーさんだ！（と、駆け寄る）
バベル ケンちゃん来てくれたんだ。
高浜 おう。
4人 で、この方は？
真壁 真壁だよ。真壁・・・
ブリンク (こらえきれず、腹抱えて笑っちゃう)
真壁 酷くねえか、そう言うの？ お前が着てこいって・・・(泣きそう)
ブリンク いや、想像以上に似合ってるから、びっくりしちゃって・・・
真壁 失敗したなあ、もう・・・
高浜 あれ？ ジュリアちゃんは？
ブリンク (我に返り)・・・
清姫 それが来ないんだよ・・・
バベル だからこうやって、ここで待ってるの。
マリア 携帯も通じないし・・・
真壁 ジュリアが来ないなんて、そんなこと・・・
ブリンク だから心配してるんだよ。何かあったんじゃないかって・・・

と、真壁の携帯が鳴る。何処にしまい込んだかと、バタバタするが、携帯を発見し、出る。

真壁 龍ちゃんか？ お前・・・

舞台前に現れる剣崎と藤代。剣崎は携帯を耳に当てている。

剣崎 何処にいる？ 教育文化会館か？

真壁 ああ、そうだ。

剣崎 そっちにマリアちゃんはあるか？

真壁 ああ、一緒だ。今、会場の正面に立ってる。みんなでな。でもどうして？

剣崎 それならいいんだ。真壁、説明は後だ。とにかくマリアちゃんに会いたい。会場の正面だな・・・ OK！ 見つけた。

と、電話を切り、みんなのもとに藤代と共に駆け寄る。

藤代 良かった。みんなに会えて。店行ったら、締まってて・・・

剣崎 近くの果物屋に聞いたら、ここに来てるって・・・

真壁 って、何なんだよ。そんな息切らして・・・

剣崎 って、誰だ、お前？

真壁 真壁だよ。龍ちゃん・・・

剣崎 (プツと吹く)

真壁 龍ちゃんまで・・・

ブリク って、剣崎先輩。うちのライブを見に来たって風じゃないけど。一体、なに？

剣崎 ブリンク。マリアちゃんを借りていいか？

ブリク なに言ってるんだよ。ダメに決まってるだろ。もうすぐうちの出演なんだ。ジュリアだけじゃなく、マリアまで持って行かれたら・・・

剣崎 ジュリアちゃんが、なんだって？

清姫 そう。行方不明。

藤代 行方不明って・・・

剣崎 マリアちゃん。答えてくれないか？ 君の本当の名前を？

マリア マリアだよ。

剣崎 正直にだ。

マリア マリアだよ・・・

剣崎 岩城圭昭と言う人を知っているか？

マリア し、知らないよ・・・

ブリク 岩城先輩の何だって言うんだよ。

剣崎 麻薬所持で捕まった岩城圭昭には一人娘がいた。その娘は二ヶ月前に家出している。

伊ザベル 二ヶ月前？

剣崎 家出したときに持ち出したスーツケースの中に、とても重要なデータが隠されていた。

ブリク 重要なデータ？
剣崎 マイクロドライブだ。
清姫 マ、マイクロドライブって、まさか、昨日マリアが見つけた・・・
剣崎 マイクロドライブを見つけたのか？
マリア 知らない・・・ そんなの知らない。
剣崎 正直に答えてくれないか。圭子ちゃん。
ブリク 圭子・・・ 岩城先輩の一人娘・・・ そうなのかい？
マリア (ただ首を横に振るだけ)
藤代 マイクロドライブの中には危険なデータが入っている。警察と暴力団の癒着を示す・・・ 警察も暴力団もそれを必死になって探している・・・
真壁 なあ、龍ちゃん。お前・・・
藤代 (警察手帳を示し) 警視庁警務部人事第一課監察官室。
高浜 マッポ？
剣崎 涼。騙すようなマネしてすまなかった。許してもらおうとは思わない。でも、これだけは信じてくれ。俺は岩城を救いに来たんだ。お前言ったよな？ 「岩城をいのように使って、旨い汁吸った官僚連中の方が、罪は遙かに重い」って・・・俺はそいつらをぱくりにくた・・・
真壁 なあ、龍ちゃん。端っから言えよ・・・
剣崎 言ったら、こんな風に会ってくれたか？
真壁
藤代 で、マイクロドライブは今どこに？
マリア ジュリアが、ジュリアが持つてる・・・
ザベル ジュリアが？
ブリク マイクロドライブを持って、ジュリアが消えた・・・
清姫 すげえ、やな感じ・・・
高浜 (独り言のように) まさか塚原さんが・・・
真壁 謙二、今なんて言った？
高浜 なんでもねえよ。組の事情、マッポの前で言えるかよ！
真壁 (凄んで) 謙二、言わねえか！
高浜 塚原さんもそのぱくられたマッポの娘のこと探してて、みんなに写真持たせて、探らせてた。俺、マリアちゃんはその娘じゃねえかって、気付いて、それで・・・
真壁 塚原にチクったのか？
高浜 (頷き) そしたら、「自分で出張るかな」とか言って、店の場所を詳しく教えろって・・・
真壁 (携帯を取り出し、電話する) おう、清次。真壁だ。ところで、今、塚原さんは・・・
そうか、悪かったな。じゃあ、電話番ガンバレよ・・・(電話を切る) 塚原さんは野暮用で帰りは遅くなるんだと・・・ あいつが「野暮用」と言うときは、決まってあそこにいる・・・
高浜 まさか、ジュリアちゃんと？ そんなこと・・・
マリア 塚原って・・・

真壁 どうした、マリア？
マリア ジュリアが言った。塚原って人のこと。マイクロドライブの中に書いてたって・・・
藤代 中身を見たのか？
マリア 危ないことが書いてあるって。誰かに相談するか、捨てるしかないって・・・
剣崎 内容を知っている？ やばいな・・・ ヘタしたら・・・
藤代 消される・・・
ブリック なに滅相もないこと言ってるんだい！
真壁 ブリンク、心配するな。俺が連れ戻す・・・
高浜 なに言ってるんですか？ 塚原さんに楯突こうって言うんですか。塚原さんは「お楽しみ」を邪魔されるのを一番・・・
真壁 龍ちゃん。お前も行くか？
剣崎 (頷く)
真壁 グッドニュースが二つある。ヤツの「お楽しみ」は円山球場裏のマンションで行われる。ここから3 kmと離れていない。そして、お楽しみの最中は人払いされて、護衛は付いていない。多分、ヤツとジュリアの二人きりだ。
清姫 円山球場裏のマンション。私が車を出す。車なら5分もかからないだろ？
ブリック なに言ってるんだ、清姫。あんた・・・
清姫 行かせてくれ。ジュリアを無事に連れて帰ってくるから。ジュリア無しじゃ、In This Moment じゃない。だから・・・ 絶対にステージに間に合うように戻ってくる。
真壁 組のメルセデスでいったら、目立ちすぎる・・・ 清姫、済まないが、車出してくれ・・・ でも、俺たちを運ぶだけだ。危ないことはさせない。そうだ。行きしなに組の事務所に寄ってくれ。ヤツは武装している。丸腰じゃアブねえ。
高浜 真壁さん・・・ あんたは、いったいなにを・・・
真壁 お前は事務所で車を降りろ。そして何も知らなかったことにしろ・・・ 行こう。
剣崎 バットニュースはないのか？
真壁 それも二つある。塚原の「お楽しみ」って言うのは若い女の子をいたぶることだ。そして、その時には必ず女の子にシャブを使う・・・

退場する真壁と清姫。それを追う高浜。剣崎と藤代、頷き合って、後を追う。
と、走り出すマリア。

ブリック マリア。どうする気？
マリア 私も行く。だって、ジュリアは私の代わりに拉致られたんだ。だから、助けに行かなきゃ・・・ それに、私、ジュリアに本当のことを伝えてない。私が岩城圭子だって・・・(と、走り出す)
ブリック (マリアを止めようと駆け出すイザベルを制し) 大丈夫。きっと帰ってくる。

舞台がゆっくりと暗くなっていく・・・

17. 挟み打ち／恵庭って？／もうワンアウト

薄暗い部屋。舞台後方に両手を縛られたジュリア。その傍らに塚原。縛られた両腕を掴んで持ち上げているような体勢。自由になる手にマイクロドライブ持ち、ジュリアの首筋や顎を軽く撫でている。恐怖に身を固くするジュリア。でも、その両目はしっかりと塚原をにらみつけている。

塚原　ねえ、マリア。教えて？ 何処まで読んじゃったの、この中身・・・ かなり、ヤバいもんだって、分かっちゃったんだよね？ 君のパパとヤクザの繋がり・・・ いや、それだけじゃなく、警察とヤクザが手を取り合って・・・ ショックだったろ？ 君のパパが卑劣な悪徳警官だったなんて、知って・・・

ジュリア　帰してよ。ライブさえ終わったら、また戻って来る。約束するから・・・

塚原　（首を横にふり）ダメだね・・・（と、マイクロドライブを注射器持ち替え、ジュリアに示す）大丈夫さ。マリアだって、これを打たれたら、帰る気なんか無くしちゃうんじゃないかな・・・

ジュリア　やめろよ・・・ そんなもん、やめろよ・・・

塚原　（顔をキスするほどに近づけ）あーんして。舌に打ってあげる。効くんだ、これが。ちょっと苦いけどね・・・

口を固く結び、顔を背けるジュリア。明かりが前方へと振り替わる。下手前に剣崎、真壁、高浜。上手に藤代、清姫、そしてマリア。真壁と藤代は携帯を耳に当てている。

藤代　裏口に歩哨が立っている気配なし。

真壁　分かった。じゃあ、兵隊は一人だけだな。俺が隙を狙って、黙らせる。同時にそっちは裏口から侵入してくれ。この低層マンションの4階がヤツの隠れ家だ。室内はヤツの趣味で気色悪く改築されている。中心のベッドルームの入り口は東西にひとつずつ。

剣崎　俺がドアのロックを撃ち抜いて、二人同時に侵入。俺が東側の、涼が西側の入り口を固める。

真壁　挟み打ちだ。

剣崎　でも、お前、拳銃無しで平気なのか？

真壁　（腰に差した白木の短刀を示し）これがある。このヤツパ。先代のオヤジから受け継いだ七首だ。木暮組の魂みたいなもん。これさえありゃ怖いことはねえ。

高浜　兄貴、やっぱりまずいっすよ。これじゃまるで組の中での内部抗争だ。

真壁　お前、どうしてついてきた？

高浜　兄貴を止めるために決まってるじゃないですか！

真壁　なあ、謙二。先代は絶対にシャブを許さなかった。なのに・・・ 今はあいつの所為で好き放題だ。それもマップと結託して、まるで自分が法の外にでもいるよ

うな顔してやがる。なあ、俺たちヤクザはハンパもんだが、でも、ヤクザにもヤクザの掟って言うのがあるんじゃないか？ 外れちゃいけない掟っていうもんが。先代はちゃんとそれを心得ていた・・・

高浜 兄貴・・・
真壁 行くぞ、龍ちゃん・・・

と、携帯を切り、脱兎の如く退場。剣崎と高浜もそれに続く。

藤代 (携帯をかけ直し) 馬橋さん。突入開始です。道警の機捜は動かせましたか？ もうすぐ到着・・・ はい、分かりました。ありがとうございました。(電話を切り、清姫とマリアに) 何があっても、決してここを動いちゃ行けないよ。怪我したら、ライブどころの騒ぎじゃなくなる。分かったね。

頷く二人。三人、脱兎の如く退場する。

と、他方から登場する、イザベル(泣きそう)と、次いで現れるブリンク。

イザベル だめだよ。もう私たちの番なのに、みんな帰ってこない・・・
ブリンク やるしかないだろ、二人で・・・
イザベル どうやって二人でやるんだよ！
ブリンク アコギ借りてこい。
イザベル アコギ？
ブリンク 一曲目は、「Beautiful Tragedy」のアコースティックバージョンで行く。マリアの代わりに私が歌う。そして、歌いながら、みんなを待つ・・・
イザベル (とうとう泣き出して) ブリンク。出来ないよ。そんなのできないよ。ジュリアがいないと、私・・・
ブリンク 出来るよ。(と、傍らにキクチさんが立っているのに気付く)・・・キクチさん、どうした？ アコギ借りてきてくれたんだ。ありがとう・・・ って、どうして2本も？
イザベル まさか、キクチさん？
ブリンク キクチさんも弾く気なのかい？・・・ありがとうキクチさん。アコギが2本あれば厚みも出る。イザベル。涙、拭くんだ。折角のメイクが台無しになっちゃうだろ。ヤツらは戻ってくる。歌っているうちにきっとね・・・ (と、意を決したように立ち上がり) さあ、行くよ。大トリ、In This Moment の登場だ。頼んだよ、イザベル、そしてキクチさん。

イザベルがこっくりと頷き、ブリンクに続いて立ち上がり、二人が退場する。舞台両袖前に剣崎(上手)、真壁(下手)が立っているのにサスが当たる。

剣崎 エレベータのドアが開く。4階に兵隊が立っている気配無し・・・ 塚原の隠れ家は廊下の先。ほんの15メートル。俺達は歩きながら、あの時のことを思い出し

ていた・・・ 82年7月25日、札幌円山球場。南北海道大会、準決勝。

真壁 9回裏。函館有斗の攻撃。一死二、三塁の一打サヨナラの大ピンチ。
剣崎 内野は前進守備、抜ければ負けだ・・・ 頭の中で何度も繰り返されるシミュレーション。球が転がってきたら、捕球後、三塁ランナーを見る。走る気なら、本塁へ。戻る気なら三塁一塁へ・・・ アウトひとつ取る、それでいい。

真壁 セットポジションからの5球目。胸元に食い込むようなシュート。差し込まれながらも手を出してしまうバッター。芯を外れた打球がセカンドの龍ちゃんの真正面に転がっていく・・・(これなら、守備に若干の不安のある龍ちゃんだって大丈夫だ!)

剣崎 転がってくる力ない打球をがっちりと捕球し、三塁を見る。サードランナーが慌てて塁に戻る。なら、一塁・・・ と、その時、視界の端をかすめるセカンドランナー。飛び出しすぎている。でも、涼はベースカバーに入り切れてない。俺は球を握りしめ、自らセカンドベースに向かって走り出していた・・・ 涼が「なんで」という表情をしたような気がする。一塁を指し「何で放らないんだ？」首をかしげたような気がする。何で俺はセカンドベースに向かって走り出したんだろ？ 今でもよく分からない。何故そんなことをしでかしたのか？ でも、セカンドランナーを挟み込めれば・・・ 涼と俺で挟み打ちにすればいいだけだ。だよな・・・

明るくなっていく舞台。先ほどの体勢のジュリアと塚原。

と、リバーブが深くかかった銃声が2発響く。

ビックリして何事かと立ち上がる塚原。上手の出入り口から逃げようとするが、そこに拳銃を持った剣崎が立ちふさがる。「お前がなぜ？」という表情の塚原。背中から拳銃を引き抜き剣崎に向ける。ゆっくりとバックしながら下手の出口へ逃げようとする塚原。しかし、そこに立ちはだかる真壁に気づき・・・ ジュリアを羽交い締めにし、こめかみに銃口をあてる。

塚原 何やってんだ、真壁？ そこを退け。

剣崎 塚原。銃を捨てろ。そして、その娘を放すんだ。

塚原 何気取ってんだ、マッポ野郎。真壁、こいつは、俺たちの組に探り入れるために来たんだぜ。幼なじみ、騙って、お前のことを・・・

真壁 知ってる。俺な、その娘を救いに来たただけだ。約束したんでな。チャカ捨てて、その娘放せ。

塚原 馬鹿言うな。こいつは岩城のガキだぞ。その上、岩城が繋いでいた関係に気付いてる。消すしかねえだろ・・・

真壁 (七首を抜き、塚原ににじり寄る)・・・

塚原 なあ、そんな格好で何する気だ？ クーデターでも起こす気か？ ヤッパ捨てて、そこを退け！

真壁 塚原。チャカ捨てて、その娘を放せ・・・

と、舞台前方（下手）に現れるマリアと清姫に明かりが振り替わる。

マリア ……清姫、あれ！ 誰かが非常階段駆け上がってる！
清姫 木暮組のちんぴらか？ まずい、藤代さんが後ろから狙われてる。
マリア 藤代さん！ 後ろ！（と、大声で叫ぶが……）
清姫 っ、聞こえるかよ。（と、駆け出そうとする）
マリア （それを制し）どうするの？
清姫 助けに行くに決まって……
マリア でも、ここにいろっ！
清姫 寝ぼけてんのか、お前！

駆け出し、退場する清姫。意を決して清姫の後を追うマリア。
銃声。下手より転がり出る（っっていうか、転んでる）藤代。下手前に拳銃を落っことしたまま、上手前まで転がる。

藤代 痛てて、っっていうか、危ねえ…… お前後ろから急に撃つのは…… つーか、兵隊、もう一人いたですね。どうする？ 拳銃落としちゃったし……（手帳を出して）警察だぞ、ボケ！ さっさと銃捨てろ！ て、凄んだところで、だめですよね……（と、手を挙げ、大声で）剣崎さん！ 裏にもう一人……

と、銃声。頭を抑えてうずくまるが……
下手に拳銃を構えた清姫が立っているではないか！ 先ほどの銃声は清姫が放ったものだったんだ。

清姫 どちんぴら。銃捨てて手を上げろ。さもなきや、あんたの右耳、ふっ飛ばすよ。
（がちゃりと拳銃が床に落ちる音。）いい子だ。いい子ついでに、暫く寝てろ。

と、ちんぴらの後頭部を銃把で殴る。と、清姫の背後に飛び出してくるマリア。

マリア 清姫！
清姫 マリア。あいつの銃、拾うんだ。こうなっちゃったら仕方がない。ジュリア、救いに四階まで行くよ。（と、銃を持ったマリアと共に退場）
藤代 あいつ素人じゃねえな。っっていうか、こら、俺の拳銃、返せ！（と、退場する）

と、照明が舞台後方の塚原らに戻る。

塚原 派手にやってやがるな。（剣崎に）さっきの鶏が絞め殺されるような叫び。あれ、あんたの相方だろ？ 殺られちゃったかな？ ご愁傷様。さあ、遊びは仕舞にしよう……

と、雪崩れ込んでくる清姫とマリア。そして、藤代。

清姫 (銃を塚原に向け) 残念だね。あんたの兵隊なら、非常階段で昼寝中だよ。
塚原 誰だ、お前ら? けったいな格好だよ・・・
清姫 四の五の言ってねえで、銃捨てろ。さもなきゃ、お前の脳天をぶち抜くまでだ。
塚原 なにフカシこいてんだ、ゴスねーちゃんが・・・
清姫 この距離なら絶対に外さない。まだ腕は鈍っちゃいないよ。
藤代 まだ?
清姫 恵庭にいた・・・
剣崎 恵庭?
藤代 って、陸上自衛隊? っていうか、第七師団?
清姫 よく知ってるな。軍事ヲタクか、お前は? [注: 清姫は恵庭の陸上自衛隊第七師団にいたらしいよ。第72戦車連隊所属だって。えええっ、前振りとか、何にもなかったじゃないですか! とか突っ込んで嫌! いいちゃん、座長祭なんだから・・・ あっ、そうそう、第72戦車連隊には重機関銃射手の女性自衛官が実際に存在していたそうです。]

と、舞台中央に転げる様に登場。

高浜 兄貴。真壁さん。もう止めてくれ。組の中で争ってどうなるんだよ。
真壁 謙二。お前は来るなって・・・
塚原 高浜! 何やってんだ、お前。組に連絡しろ! 若いの呼ぶんだ・・・
高浜 はい。(携帯を取り出す)
真壁 謙二。これは俺と塚原の問題だ。
塚原 真壁。てめえ・・・ 何考えてるんだ。組の存亡がかかってるんだぜ? この娘は岩城の餓鬼だぞ。それも、手前の親父の悪徳ぶりに気付いてるんだ。(ジュリアに) なあ、そうだよな?
ジュリア 知るかよ・・・
塚原 ウソつくな! じゃあ、聞かせてやるよ。10年も前の話になるか? お前の親父は拳銃の摘発を偽装して金稼いでやがったんだよ。そこの真壁と手を組んでな・・・ とんだ悪徳警官だ。お前の親父の岩城圭昭はよ・・・
ジュリア やめろよ。
塚原 で、お前の親父を闇の世界に引きずり込んだのが、真壁だ。真壁は岩城と仲良しでな。岩城の悪事がばれそうになったとき、自ら進んで自首したぐらいだ。でも、間が悪い男だよ、こいつ。こいつがばかれた直後、入院していた岩城の嫁さんの病状が急速に悪化してな。岩城がこいつの供述調書を徹夜で捏造してる間に、ころっとよ・・・
ジュリア やめろよ。もうやめろって・・・
塚原 なあ、真壁? お前の所為で、愛する嫁さんの死に目にも会えなかったんだよな。
真壁 お前が拳銃に実包なんか混ぜ込まなきゃ、事はもっと簡単に進んだはずだ・・・

塚原 違うね。お前の所為だ。お前の所為で、岩城は嫁さんの死に目に会えなかっただけじゃなく、娘にも嫌われちゃったんだって。そう泣き言と並べてたぜ。なあ、マリアそうだよな？ 「パパはママの最後に立ち会わなかった・・・」

ジュリア (マジでキレル) 喋るな！ それ以上・・・

塚原 ひとりぼっちになった岩城はますます悪の道に染まっていきましてさ。めでたしめでたし・・・

剣崎 岩城を縛り付けたのは、お前の2,000万の借金だろ！ 優子ちゃんの治療費としてお前が貸し付けた。それで、お前は岩城をいいように利用した・・・

塚原 おやおや、ご学友がまた、悪徳警官の肩持ちちゃって・・・

ジュリア (本気で怒って) 悪徳とか言うな・・・

塚原 言って悪いのかよ。(語気を荒げ) ずぶずぶの悪徳警官だろうが！

と銃声。首をすくめる塚原。

一步踏み出したマリアが不器用に構えた銃から弾丸を発射したのだ。

逆上した塚原が、ジュリアを真壁に放り投げ、銃をマリアに向け、「てめえ、とうしろがチャカ振り回してんじゃ・・・」と叫び、発砲しようとする。

と、清姫の拳銃が火を噴き、塚原の銃をはじき飛ばす。

その隙を突き、剣崎が塚原に足払いをかけ、倒す。エリを掴み、後頭部に銃口を当て叫ぶ「藤代、わっばだ！」

走り込む藤代。後ろ手に手錠をはめる。

真壁 大丈夫か、ジュリア？

ジュリア (真壁の胸にしがみついたまま) 大丈夫だよ。でも、もっと早く助けに来いよ。もっと、早く・・・(緊張が解け、涙が溢れる)

遠くから聞こえてくるサイレンの音。

藤代 やっと、機捜の登場か・・・

剣崎 塚原、誘拐の現行犯で逮捕する・・・

塚原 そうかい、ついでに銃刀法違反で、こいつらもまとめてばくれば？

清姫 (時間を確かめ) もう、うちのライブが始まる時間だ。一秒でも早く、ここを出なきゃ。いいかな・・・

藤代 (黙って頷く)

近づいてくるサイレンの音。それが観客のざわめきと歓声に置き換わっていく・・・イザベルのアルペジオが響き始める。マイクを通したブリンクの声。

ブリンク ...最終エントリー、In This Moment。美しき悲劇が私に激突する。Beautiful Tragedy・・・

そして、デス声ではないブリンクが静かに歌い出す・・・

清姫 (マリアに駆け寄り、握っていた拳銃を優しく外して) マリア、大丈夫かい？
マリア 私のパパは・・・ 私、パパに・・・
清姫 マリア？(マリアの目を見つめ、首を横に振る。マリアが持っていた銃をデコッ
キングした後、自らの銃とともに足下に置く) 藤代さん、拳銃ありがとう。行く
よ、ジュリア。
ジュリア (清姫に向かって頷くとともに、真壁に) 真壁さんは？
真壁 (ジュリアの手首に巻かれた紐をほどいてやり) すぐに追いかける。とにかく、
早く行くんだ。一秒でも早く・・・
ジュリア (頷き、手に持っていたマイクロドライブを真壁に渡す) じゃあ、会場で待つて
る。(と、駆け出す)
清姫 さあ、マリア、急ごう。

と、清姫とマリア、脱兎の如く退場。

真壁 龍ちゃん。今度はちゃんと、アウトに出来たな。セカンドランナー・・・
剣崎 涼。
真壁 あん時はこんな風に挟み打ちしてるうちに、隙を突いてサードランナーがホーム
に向けて走り出してた。
剣崎 俺はセカンドランナーしか頭になくて、気付いたときには・・・
真壁 焦ってバックホームした球が、大暴騰だもんな。決勝大暴騰・・・
剣崎 涼。それは・・・
真壁 いいじゃねえか、龍ちゃん。今回はアウトなんだから・・・
藤代 塚原立て。(と、塚原を立たせ、舞台袖に寄せる)
塚原 なあ、真壁。何がアウトだ。こんなことして、お前、ただですむと思って・・・
真壁 (塚原に近づきながら、七首を抜く) この七首はオヤジから俺が受け継いだもの
だ。お前じゃなく、俺がな・・・
塚原 じゃあ、オヤジのそれでエンコつめろ！ そしたら、今回のことは大目に・・・
真壁 俺がつめるのは自分のエンコじゃない。お前だ。オヤジは組がこんな風になって
しまうのを望んだわけじゃない・・・
塚原 お前に何が分かるんだよ。オヤジの死に目にも立ち会えなかったお前に！ 6年
で仮出所の申請が通ったっていうのに、お前は刑務官殴って取り消し喰らった。
その理由が「オヤジの葬式に出席させろ。借出所の前に一時間だけでいいから、
参列のために外出させろ。」だっていうんだから、笑っちまう。ム所入ってるのに、
そんなワガママ聞いてもらえるはずねえだろ？ 馬鹿なんだよ、お前は。そんな
馬鹿が、組、束ねていけるはずねえだろ。なあ、高浜？

へたり込んで、放心している高浜。混乱して、何も答えることが出来ない。

塚原 高浜。こいつらはぱくったつもりでいるみてえだが、俺はぱくられることはねえ。まあ不起訴ってヤツだ。

藤代 不起訴だと？

塚原 ああ、そうだ。すぐ出て来る。だって、道警にはお友達がいるからな・・・

剣崎 誰だ？

塚原 いろいろとだよ。剣崎さん。なあ、高浜。戻ってくるまで、留守は頼んだと、三代目に伝えといてくれ。くれぐれもおたおたすんなってな・・・でも、まいったな、お前にも・・・ちゃんと、そこの馬鹿の面倒見みろって言ったのに、全く役に立たねえんだから・・・ちょっと考えさせてもらうぜ、お前の処遇・・・

剣崎 藤代。そいつを連れて行け・・・

藤代 はい。(と、塚原を連れて行こうとする)

塚原 なあ、高浜。お前も、お前の将来、ちょっと考えてみた方がいいじゃないか、俺が戻ったあとのこと・・・なあ、男気見せておけよ。ここでさ・・・

藤代、幾分強引に塚原を引っ張って退場。

剣崎 どうするつもりだ、お前は・・・

真壁 さてな。マッポに組の若頭売ったヤクザの後先なんか考えたくもねえよ。とにかく、組は破門だろな・・・(七首を高浜に渡し) 謙二。俺はもう、組には帰れない。これをオヤジに、先代に返しておいてくれ。頼んだぞ。・・・なあ、龍ちゃん。グラウンド行かないか？

剣崎 グランド？

真壁 城南高校のグラウンドに決まってるだろ。

剣崎 で、キャッチボールでもするか？

真壁 (笑って、首を振る) 校庭にちいさな桜の木があっただろ。あれ、まだ、残ってるかな？

剣崎 (頷いて) 残ってるさ。その上、桜の花が満開に・・・

と、背後でへたり込んでいた高原が叫び声と共に七首を抜き、背後から真壁の背中に刃を深く突き刺す。ストップモーション。舞台は光の洪水となる(その間に舞台後方に、ギターを持ったイザベルとマイクを握ったブリンクがセッティング)。

真壁 何やってんだよ、謙二・・・

高浜 兄貴、なんで、俺を巻き込んだんだよ。

真壁 だから、ここには来るなって・・・

高浜 こうするしかないだろ？ おれ、こうするしか・・・塚原さんはすぐ帰ってくる。そうになったら俺は・・・エンコの二三本じゃすまない。きっと・・・だから、だから・・・ここで、男気見せておかなきゃ行けないんだ。

真壁 そうか・・・そうだな、謙二。お前にまで迷惑かけるなんて、ヤキが回ったな、俺も・・・

目潰し照明がダウンしていくと、舞台後方にギターを持ったイザベルとマイクを握ったブリンクがいるのが分かる・・・

高浜 兄貴、ごめん。でも、こうするしか・・・(叫びながら、退場する)
真壁 謙二。七首をオヤジにきちんと返すんだぞ・・・(と、崩れ落ちる)
剣崎 涼！(と、叫んで真壁に駆け寄る)しっかりしろ。(外に向かって叫ぶ)藤代！真壁が刺された。救急車！ヤッパ持った高浜が逃走。確保しろ！・・・涼、大丈夫だ。すぐに救急車が来る・・・
真壁 悪いな。龍ちゃんまでに迷惑かけて・・・謙二な、悪気はないんだ。悪いのは俺だから・・・
剣崎 なんで、そうなんだよ。いつでも悪いのは、涼なのかよ・・・
真壁 いつだってそうだ。俺は・・・
剣崎 南北海道大会の準決勝だってそうだ。どう考えたって、あれは俺のボーンヘッドだ。一塁に投げてアウトを取るべきだったんだ。それを、俺は球を握りしめたまま二塁に向かって駆けだした・・・俺は、ホームに向かって三塁を蹴ったサードランナーのことなんか、頭の片隅にもなく・・・俺たちが気付いたときにはもうバックホームが間に合わないタイミングだった。だから、お前はわざとビックリするような大暴騰をした。俺のボーンヘッドを目立たなくするために・・・
真壁 んなことは・・・
剣崎 負けた原因が全部自分にあるように、四方八方に謝りまくった・・・その内に俺のボーンヘッドは誰からも言われることはなくなり・・・
真壁 違うよ、龍ちゃん・・・
剣崎 お前が組のために長六四喰らったのも、道警内部で追いつめられ始めていた岩城を救おうとしたからだ。そして今度も、お前は死ぬ気で、岩城を守ろうとした・・・
真壁 よく分かんねえが、そんな星ものと一緒に生まれちゃったんだ。でもよ、何やらせても、間が悪いんだよな・・・(と、咳き込む)
剣崎 涼。もう喋るな。救急車が来るまで、すこし・・・
真壁 分かったよ。・・・なあ、龍ちゃん。あいつら、間に合ったかな・・・ブリンクに取っちゃ、あのライブが人生そのもの。ファイナルステージに進むことが夢・・・今度は夢じゃないかも知れない。マリアがいるから・・・(ポケットからマイクロドライブを取り出し)だから、俺たちもファイナル行こう。このマイクロドライブの中には、塚原とマッポの上層部との繋がりを示す重要な情報が入ってる。これがあれば、岩城をいのように使ったヤツらを挙げる事が出来る・・・龍ちゃん、岩城を救ってやってくれ。なあ、これで、岩城を・・・

剣崎、マイクロドライブを受け取る。

ブリンクが歌いながら舞台中央に移動してくる。曲の終わりも近い。と、イザベルのアルペジオが不意に止まる。舞台の上にマリアが、清姫が、ジュリアが立っているのに気付いたからだ。三人とも肩で息をしている。ジュリアが手に持った

イザベルにレスポールを手渡す。イザベル、それを受け取り、ストラップを肩にかける。キクチさんもドラムセットに移動したようだ・・・

ブリンクは決して後ろを振り返らない。でも、全員の準備が整ったことぐらい、振り返らなくても分かるんだ。「みんなが帰ってきたのなら、涼もどこかにいるはずだ。きっと、涼のことだから会場の隅の隅が目立たないところに・・・」シーリングライトのまぶしさを避けようと手をかざし、暫し会場の中にいる涼の姿を探すが、真壁の姿を見つけることは適わなかった。

ブリンク (独り言のように) 信じてたよ。戻ってくるって・・・

剣崎 (マイクロドライブを握りしめ) まだ、ツーアウト。延長戦に持ち込むには・・・

ブリンク (独り言のように) 涼、そこにいるんだろ？ 見せてやるよ。本当の In This Moment を・・・

剣崎 もう、ワンアウト・・・

ブリンク (マイクに向かい叫ぶ) 叶えられることのない私の祈り・・・ Prayers!

ブリンクの叫びと共に「Prayers」の演奏が叩き付けるように始まる。

マイクロドライブを握りしめ、闘志を燃やす剣崎。

ゆっくりと暗転していく舞台。

18. スリーアウト・チェンジ／接見交通権／桜の木は・・・

Prayers が響く中。明転する舞台。

後ろ向きに腕組みして立つ柏。舞台前方に剣崎と藤代。

柏 (正面を向き) 本当かね? 偶然にマイクロドライブを見つけたというのは・・・

剣崎 (マイクロドライブを手に持ち) 木暮組の塚原と共にね・・・

柏 塚原? ああ、機捜の方から連絡が届いている。巡回中に緊急逮捕。それも誘拐の現行犯とはね・・・ なにか、じっくり来ないがね。ともあれ、岩城と木暮組を繋ぐ物証が手に入ったんだから、結果オーライだ。(と、手を出す)

剣崎 (しかし、渡さない)・・・この中には岩城が拳銃摘発偽造について詳細に記した覚え書きの電子データが入っている。10年以上も前の・・・ そうだったよな?

藤代 でも、この日立グローバルストレージテクノロジーズ社製の 8GB のマイクロドライブが一般的に販売されるようになったのは 2006 年以降。そんなに古い事じゃありません。つまりこのメモリーにデータをバックアップしたのは 2 年以内・・・

剣崎 つまり、それまでは、この電子データは岩城の PC の中に存在していたことになる。

藤代 でも、岩城が銃器対策課から異動したのは、それより遙か前のことです。

剣崎 だから、あなたが言うように、拳銃摘発偽造が岩城の単独の暴走であったのなら、このデータはすでに岩城の手によって消去されていてもいいはずだ。

藤代 では、何故、岩城はデータを消去しなかったのでしょうか? それは拳銃摘発偽造が岩城単独で行われたものではなく、組織的に行われていたからではないですか? 当時の上司であるあなたもそれに荷担していた。

柏 憶測で物を言っではいけないよ。

剣崎 憶測? これがその証拠じゃないのか?

柏 それはそんな物ではない。

剣崎 そんな物じゃないのならなんなんだ? 岩城と木暮組を繋ぐ物証なんだろ? 拳銃ではなくシャブの繋がりか?

柏 何を言っている。それはこちらの証拠品だ。だから・・・

藤代 いえ、我々が内偵捜査中に発見した重要証拠物件です。

柏 岩城の捜査のイニシアチブは我々にある。

藤代 分かりました。ではこちらで内容のコピーを取ってからお返ししますよ。

柏 (緊張した面持ちで黙り込む)・・・

剣崎 それにしても、ご執心だね。このマイクロドライブ。やっぱり、かなりヤバいデータがてんこ盛りに入ってるんじゃないの? で、どうやって俺たちの手から頃を取り戻そうかと、頭フル回転させてるんじゃないの、今? この小さなマイクロドライブの・・・(と、柏を脅すかのように、マイクロドライブを力強く握りしめる。と、ぱきっと割れる音。) あっ!

と、ぱきっと割れる音とともに、唐突に音響も停止。

藤代 今、ばきっ、とか音しませんでした？ あああっ、剣崎さん何やってるんですが、マイクロドライブが真っ二つに折れちゃってるじゃないですか！

剣崎 ごめん。ちょっと力が入り過ぎた。

藤代 力、入り過ぎたとか、そう言う問題じゃ・・・

柏 (たまらず吹き出してしまう) 君たち・・・ ははははっ。残念だったね・・・

藤代 残念って？

柏 証拠がなくなって、残念だったね。憶測だけじゃ監察官は動けないからね。確証がなければ、さすがに・・・ 本当に愚か者だね。君たちは・・・

剣崎 (ふと真顔に戻り) やっぱ、これは何かの証拠だったってわけね・・・(と、折れたドライブを柏に放る)

柏 (両手で受け取り、その軽さにとまどう) こ、これは？

剣崎 ゴディバのチョコだ。本物は(ポケットからドライブを取り出し示す)こっち・・・バレンタインデーに上司の桧山課長からもらったヤツが、何故かポケットの中に入った。この中身を確かめれば、お前の悪事も分かるんだろうが、その前に俺達の手でばくっておきたかった。

藤代 柏銃器薬物対策課課長。先ほどの発言を「当事者のみが知りうる事実」と判断します。汚職容疑で逮捕状を請求します。

剣崎、ゴディバのチョコを呆然と見つめる柏。

剣崎 涼。これでスリーアウトだ。

藤代 スリーアウト・チェンジ。延長戦に突入ですね。

剣崎 なあ、そのチョコ、間違っても喰ったりするなよ。三ヶ月間放置プレーだからな。きっとカビて・・・

と、藤代の携帯が鳴る。

藤代 (出て) はい。藤代です・・・ そう、ですか・・・ 剣崎さん・・・

剣崎 どうした？

藤代 真壁が・・・ 搬送先の救急病院で息を引き取ったそうです・・・

沈痛な面持ちの藤代。天を仰ぐ剣崎。舞台が闇となる。
闇に泣き声。ゆっくりと明かりが点ると、そこはゴスロリパブ In This Moment。
膝を抱えて泣いているジュリア。その傍らでイザベルがジュリアをなだめている。
離れて立つブリンクと清姫。ブリンクは紙切れを手にしている。

ブリク YOSAKOI ソーラン祭り、ゴス・ライブ・フェスの最終予選大会へのご参加、誠にありがとうございました。厳正なる審査の結果、残念ながら、落選となりましたので御通知申し上げます・・・

清姫 落選・・・
ブリク ああ。文面は「声に出して読みたい美しい日本語」って感じだがね。(と、紙切れをくしゃくしゃに丸め、放り投げる) ジュリア。もう泣きやみな。泣いたってどうにもなるもんじゃないだろ？ 来年があるさ・・・
伊ザベル 酷いよ、ブリク！ ジュリアが泣いているのは、そんな事じゃないよ！ ブリンクだって、そんなこと分かってるのに・・・
清姫 (強くたしなめる) やめな、イザベル。
ブリク いいんだよ、清姫・・・
伊ザベル ねえ、ジュリア。向こうで泣こう。ねっ・・・

と、イザベルが泣きじゃくるジュリアを支えて退場する。清姫も哀れむように、且つ勇気づけるようにブリクを見つめた後、退場。転換照明の中、舞台中央に登場する剣崎。そして、舞台袖前に現れるマリア。

マリア パパに会えるの？
剣崎 接見交通権。家族なら立会人無しに接見できる。弁護士との話も付いてる・・・
マリア でも・・・
剣崎 会うのが嫌なのか？
マリア (首を横に振り激しく否定する) でも、私、パパを苦しめ続けてきたから。ずっと・・・ だから・・・
剣崎 だったら、パパに会って、それを詫びればいい。
マリア どうやって？
剣崎 簡単なことだ。たった一言、心を込めて言えば良いだけだ。「ごめんなさい」って・・・
マリア (頷く)
剣崎 もし可能なら、俺からのメッセージをパパに伝えて欲しい。「塚原も柏も捕まった。警察庁も警察組織のウミを取り除くことに本気になっている。だから、もう何も隠す必要はない。」と・・・ あと、もう一言だけ加えてくれないか。「闇に葬り去られそうになっているお前を助け出したのは、涼だ。涼がお前を救ったんだ、自らの命をかけて・・・」
マリア うん。約束する・・・
剣崎 ありがとう、マリア。
マリア 圭子だよ。今はね・・・
剣崎 接見の時間だ。早く行ってこい・・・ (と、踵を返す)
マリア (帰ろうとする剣崎の背中に声をかける) 知らないフリしてごめんなさい。野球のこと・・・ 私、よく野球のこと知ってるよ。小学校の頃の日曜日の朝は、いつだって野球場にいた。パパの草野球チームの試合。ママと応援してたんだ。パパはピッチャーで4番で、かっこよかったんだから・・・ 本当にかっこよかったんだから・・・

それを背中で聞く剣崎。剣崎に一礼し、接見に向かうマリア (退場)

転換明かり。高校野球の練習風景と言う感じのSEが流れ始める。
正面を向く剣崎。と、背後から剣崎に近づくブリンク。

ブリンク 剣崎先輩もここに来てたんだ・・・
剣崎 ああ。
ブリンク でも、城南のグラウンドって、こんなに狭かったんだね。あの頃はすごく広く感じたけど・・・
剣崎 あの頃は、なんでもでかく見えた、のかもな・・・
ブリンク (剣崎が何かを見つめているのに気付き) 何見てるの？
剣崎 桜・・・
ブリンク 桜？ ああ、あの校庭の・・・ でも、もう花見には盛りすぎてる。葉っぱ目立つし・・・
剣崎 盛りすぎてるか。まるで・・・
ブリンク まるで、なによ・・・
剣崎 なんでも。・・・でも、盛りすぎた桜だって、いいと思わないか？ これから夏にかけて、たくさんの葉をつけて、青々と逞しくなる・・・俺たちは、あの桜を見ながら、白球を追っていた・・・しかし、ほんと大きくなったなああの桜・・・あいつが気にしててさ、あの桜、まだ残ってるのかな、って・・・
ブリンク ねえ、49日が過ぎたら、墓参りに来てくれる？ 涼も喜ぶと思うから。
剣崎 ああ、約束する・・・
ブリンク 私ね・・・涼と暮らしていこうって思ってた。籍入れようとか真剣に考えてた。でも、あいつったら籍入れる前に、鬼籍に入っちゃってるし・・・ほんと間が悪いよ・・・(涼も、そして私も・・・)
剣崎 (ブリンクを見つめ) お前・・・
ブリンク ...ジュリアが、あの日から、涼が逝っちまったときから、泣き通しなんだよ。朝から晩までずっと。目玉が溶けて無くなっちゃうんじゃないかって心配しちゃうぐらいに・・・ぼろぼろになってさ・・・ジュリアが泣いてたら、私、泣けないじゃない・・・だって、泣いちゃいけないじゃない。ジュリアが泣いてるのに・・・(両目に涙が溢れてくる) ねえ、剣崎先輩。肩かしてくれない。1分でいいから・・・正直言うと、私、こうやって立っているのもやっとなんだ・・・

剣崎の肩に身体を預け(重そう・・・)泣き崩れる、ブリンク。
高鳴っていく音響。徐々に暗くなっていく舞台。

19. エピローグ

再び、高校野球の練習風景と言う感じのSE。

明るくなっていくと舞台中央に剣崎が立っているのが分かる。手に野球の硬球を握っている。と、後方より現れる藤代と馬橋。

藤代　ここにいと聞いたものですから・・・
剣崎　馬橋さん、あんたも来てたのか？
馬橋　ええ、北海道のカニが食べたくってね・・・
剣崎　なら、毛ガニだな。オホーツクの流氷が溶けるころ水揚げされる枝幸（えさし）のヤツが最高だ。まっ、俺らパンピーには手が出ないがな。でも、キャリアのあんたなら・・・
馬橋　剣崎さん。私もあなたと同じ公務員に過ぎない。あなたが手が出ないものは、私にだって手が出ない。狡いことでもしてない限りはね・・・
剣崎　紋別で水揚げされたものなら、はるかに安く手に入る。枝幸のものと味の違いはよく分からない。俺にはな・・・
馬橋　剣崎さん。素敵な情報をありがとう。そして、改めてお礼を言いたい。ありがとう。剣崎さん。これだけは約策させてくれ。君の友人の死は決して無駄にしないと。
剣崎　なあ、馬橋さん。勝負はまだ決していない・・・涼と俺で2つアウトを取った。これで延長戦突入だ。岩城だって喪失していた戦意を取り戻した。圭子ちゃんの力で・・・
馬橋　勝負は、これからだ・・・
剣崎　そうだ。おれは、これで捜査一課特捜班に戻る。後は、あんたに任せた。（と、ボールを馬橋に手渡す）頼んだぞ。・・・藤代、世話になったな。
藤代　こちらこそ・・・

と、藤代の言葉も聞かず、退場する剣崎。立ち尽くす二人・・・

藤代　（剣崎に対し、深々とお辞儀をしていたが、顔を上げ）球、預けられましたね。
馬橋　（じっとボールを見つめて、黙り込む）・・・・・・・・・・
藤代　馬橋さんも高校時代、野球やられてたんですね。県大会で準決勝まで勝ち進んだ。九回裏、負けていた馬橋さんのチームが、突如息を吹き返し、劣勢を跳ね返す如く奇跡的な追い上げを見せた・・・
馬橋　でもな。さあ、ここからって時に、ランナーが走塁ミスし、タッチアウト。試合終了。（恥ずかしげに笑って）走塁ミスした馬鹿なランナーが、何を隠そう、この私だ。まさに、ボーンヘッド・・・忘れようとしても、忘れることのできない思い出だ。（藤代に目線を送り）藤代、よく調べたな。
藤代　余計なことまで調べてしまう。監察官室捜査員の習性ですかね。馬橋さん、だか

らですか？ あなたと同じ忘れ切れない思い出を持つ剣崎を抜擢し・・・

馬橋 (たしなめるように) 藤代。深読みし過ぎだ。

藤代 すみません・・・

馬橋 いいか、本当の勝負はここからだ。相手は北海道警だけではない。警察機構全体が敵となるのかもしれない。分かってるな？

藤代 (すべて承知の上で、頷く) 命を賭ける覚悟があります。こう見えても、監察官室捜査員の端くれですから・・・

馬橋 (携帯を取りだし耳に当てる) 馬橋だ。次の JAL で羽田へ戻る。3 時間以内に監察官室の捜査員全員を招集。警察庁の全監察官と国家公安委員会へも連絡。(ボールを握りしめ) 試合は延長戦に突入だ。打って、打って、打ちまくるぞ・・・

と、叩き付けるように爆音で流れ出す Players/In This Moment。
光の洪水の中に、すべての登場人物が現れ、深々とお辞儀する。

【Bonehead - 失策 -】 了

* 本作品は 2002 年に北海道警で起きた警察官の不祥事(覚せい剤取締法違反容疑で現職警部が逮捕される:所謂「稲葉事件」)に基づいて創作されたフィクションである。本作品中に岩城圭昭として登場した「稲葉圭昭」を逮捕に追い込んだ渡辺司(劇中の「友部司」)は札幌拘置支所に拘留中、実際に、自らの靴下を口につめ窒息死している。また、稲葉が逮捕された3週間後、かつての上司・方川東城夫警視(劇中の「柏東城夫」)が藻南公園(札幌市南区)内の公衆便所の中で首吊り死体として発見されることになる。これら二人の死の真相は、「稲葉事件」の全容が未だ明らかになっていない事からも分かるように、今もって謎のままである・・・